

データでみる千葉県の農業

農林業センサス編



千葉県及び各農業事務所

- 65歳未満の基幹的農業従事者数の推移
- 基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合
- 後継者の状況（5年以内の後継者の確保割合）
- 農産物販売金額1位の部門別経営体数



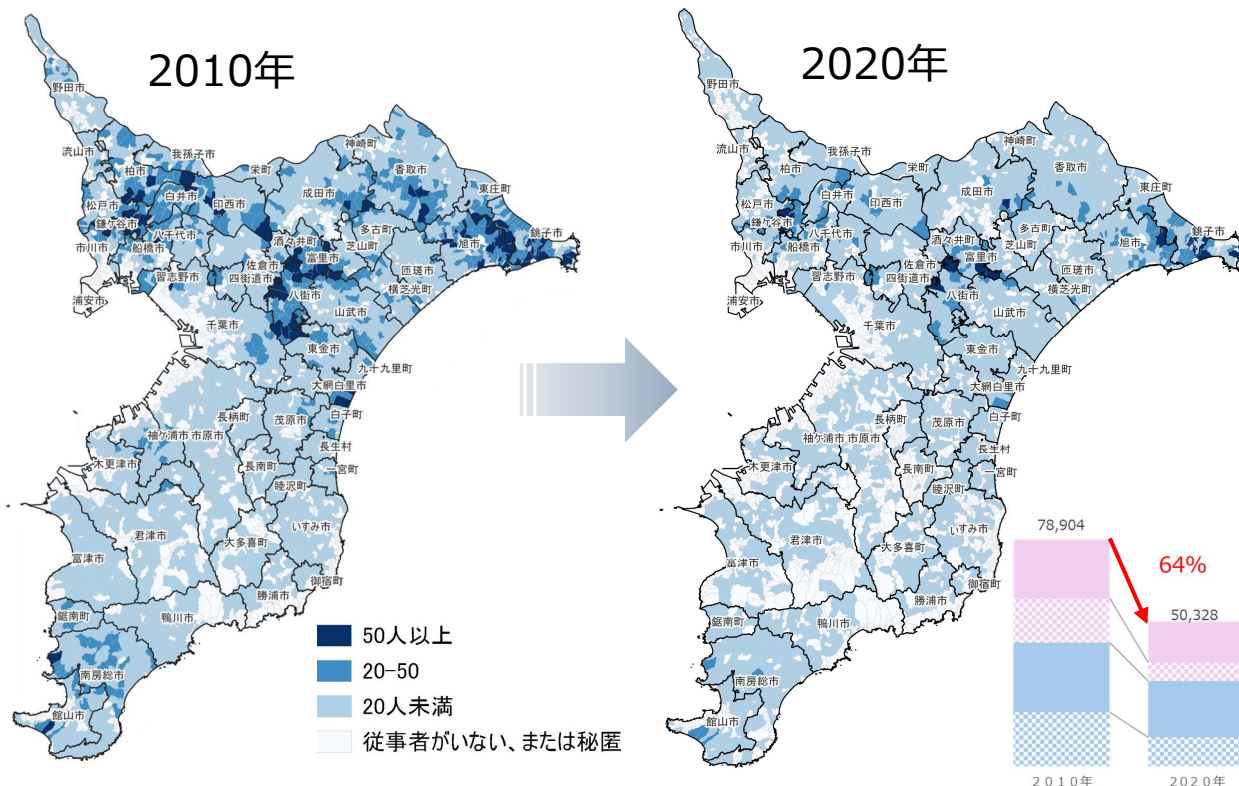


データでみる 千葉県 ～農林業センサス ①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

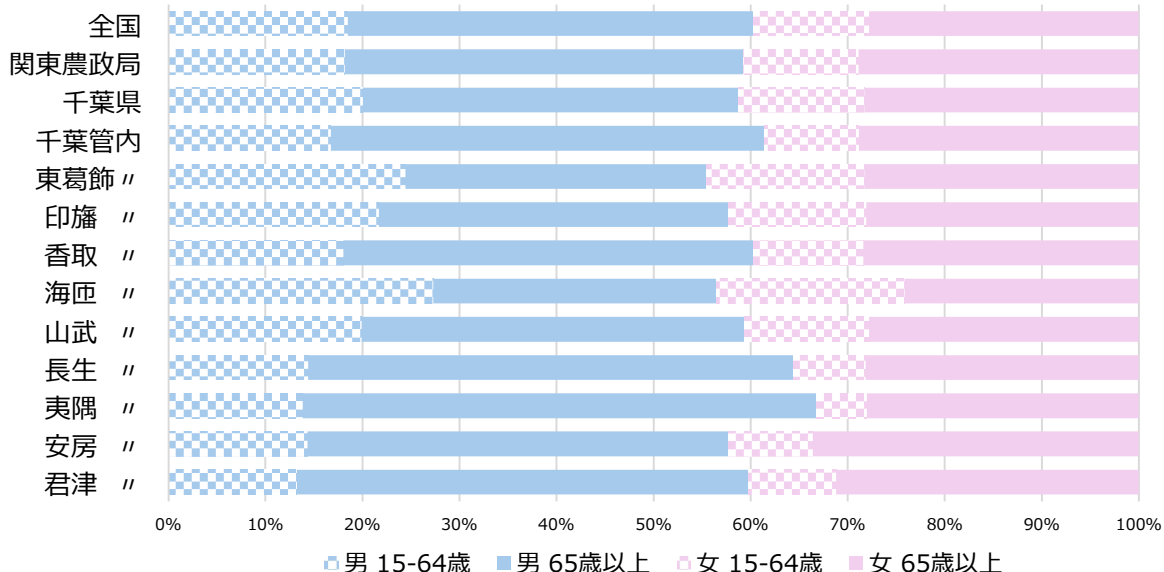
この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった農業集落は約8割減少、20-50人の農業集落についても約7割減少した。20人未満の農業集落についても約1割減少し、従事者がいない、または秘匿（*）の農業集落は1.7倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。

* 秘匿：3未満



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合

(全国・関東農政局・千葉県・農業事務所管内別)





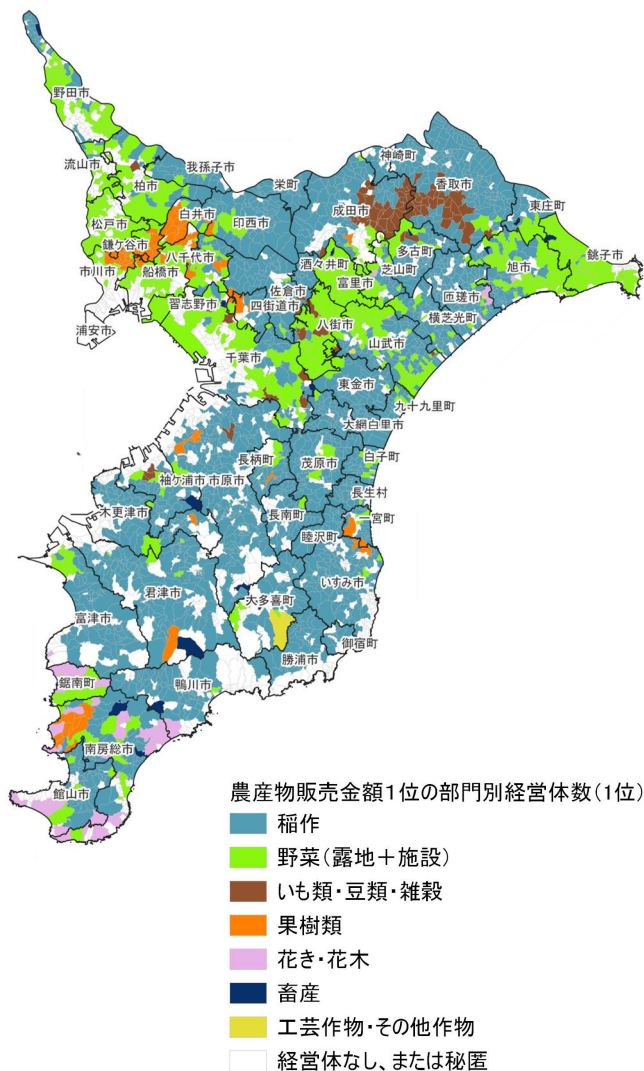
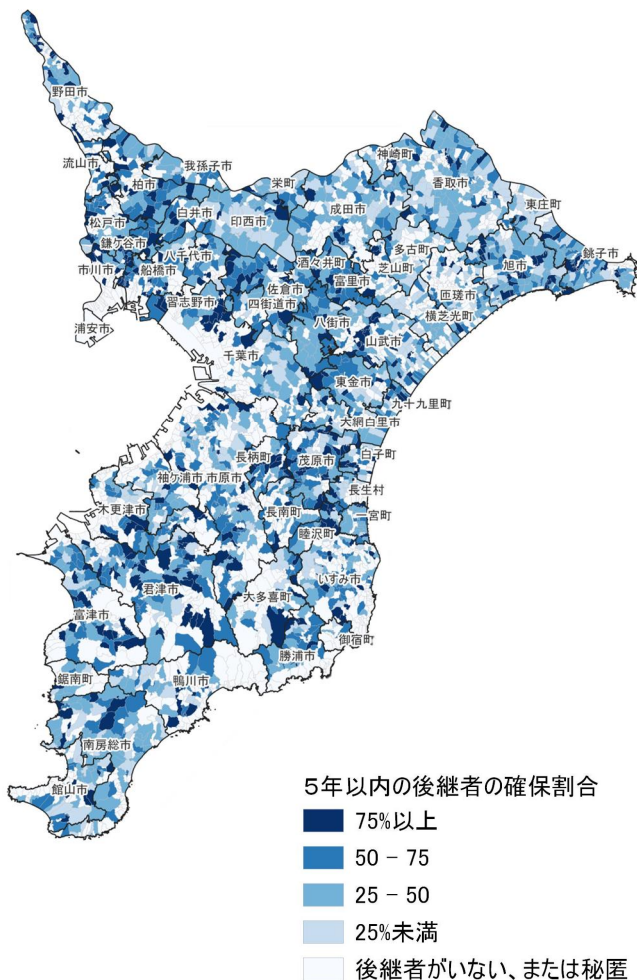
データでみる 千葉県 ～農林業センサス ②～

5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、千葉県全体では27%であった。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では33%、野菜が1位の農業集落では42%、いも類・豆類・雑穀が1位の農業集落では20%、果樹類が1位の農業集落では44%、花き・花木が1位の農業集落では27%、畜産が1位の農業集落では53%であった。

後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)

農産物販売金額1位の部門別 経営体数



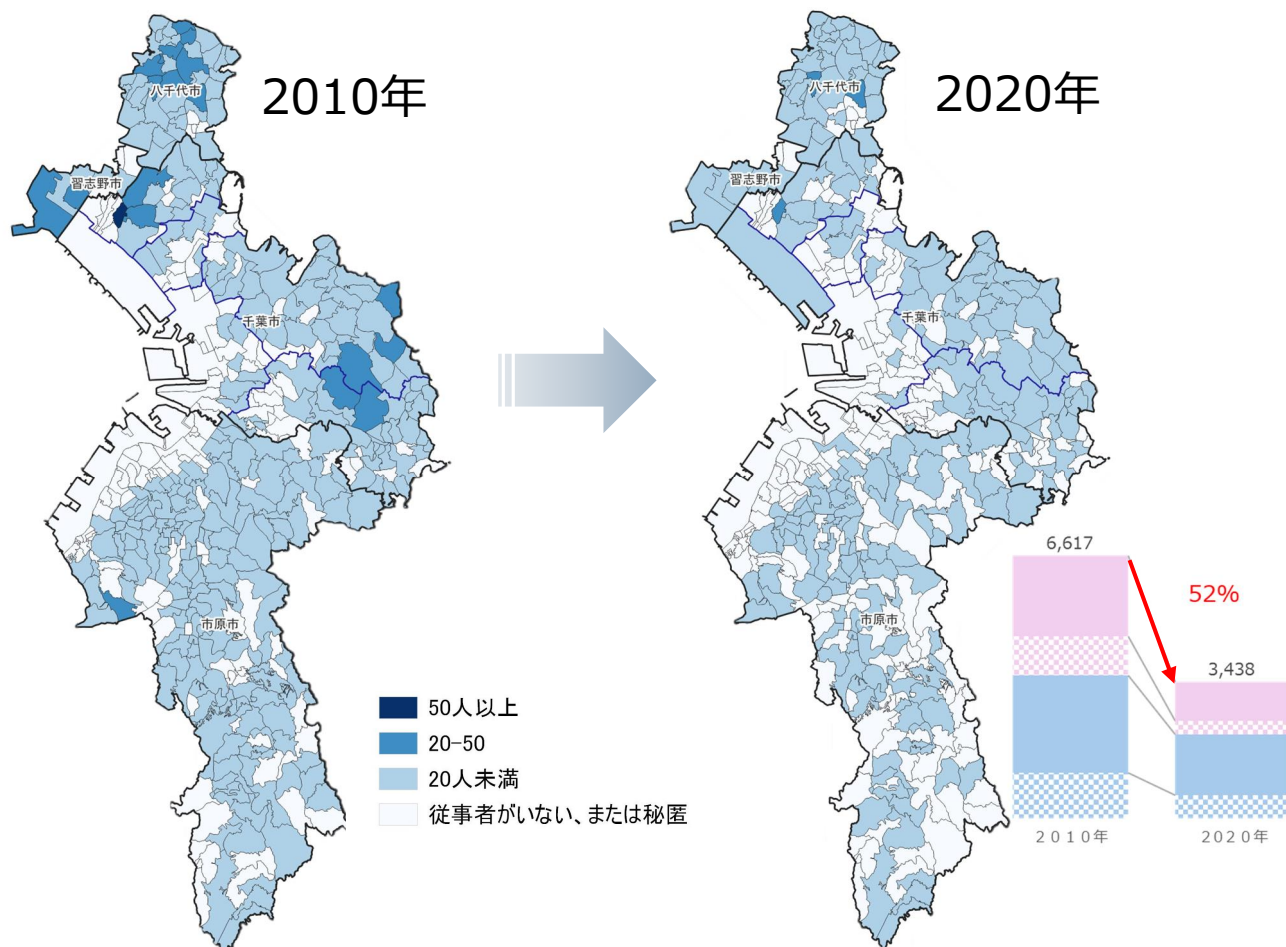
計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数（2020年センサス）}}$



データでみる千葉農業事務所管内 ～①～

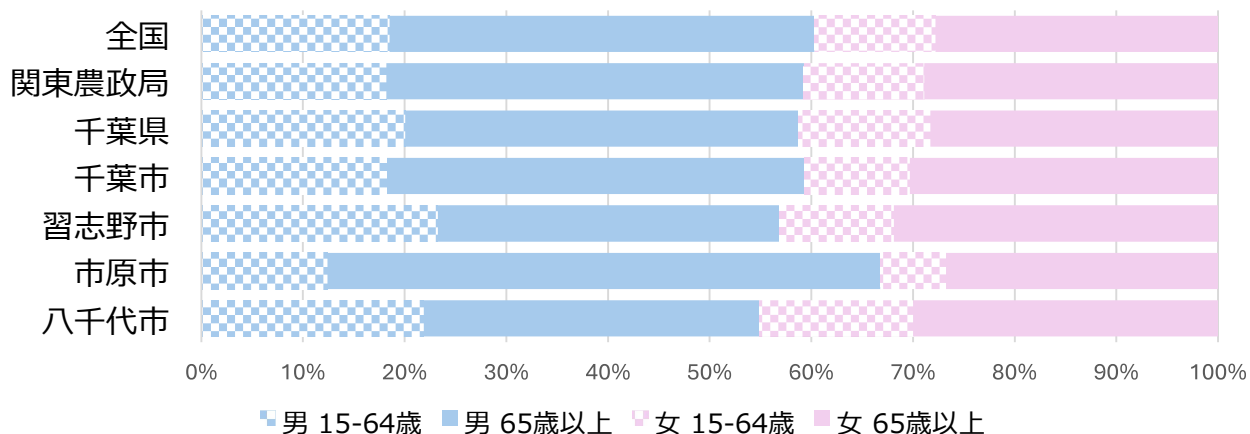
65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった1農業集落は50人未満となり、20-50人未満の農業集落については8割強減少、20人未満の農業集落についても2割強減少した。従事者がいない、または秘匿の農業集落は1.5倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合

(全国・関東農政局・千葉県・千葉農業事務所管内市町村)





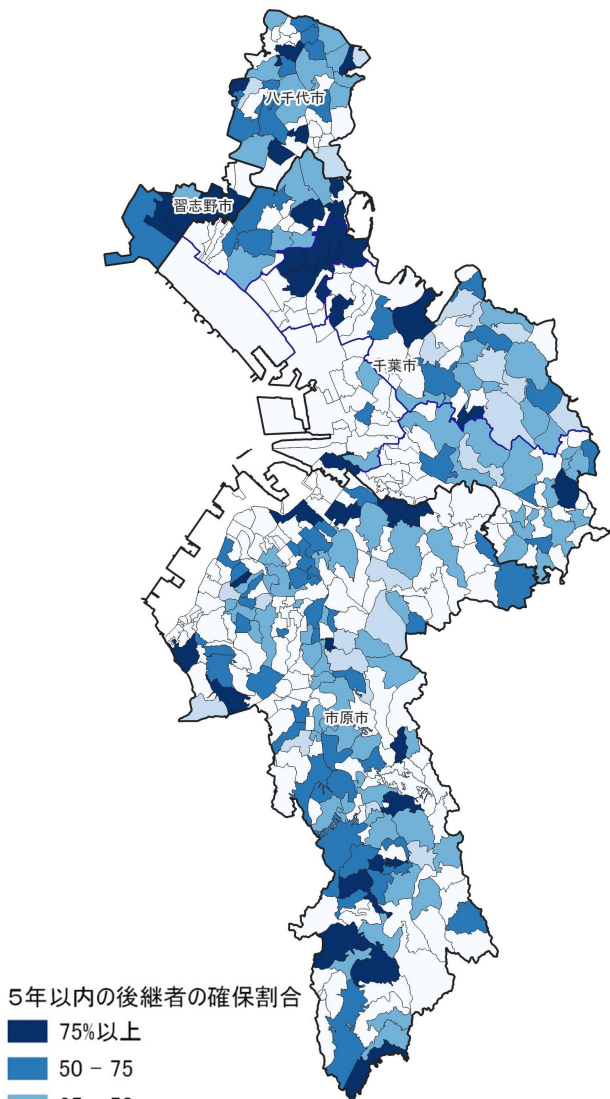
データでみる千葉農業事務所管内 ～②～

5年以内に5割以上後継者が確保されている農業集落の割合は、千葉農業事務所管内全体では19%。市町村別では、千葉市17%（中央区9%、花見川区26%、稲毛区43%、若葉区18%、緑区9%）、市原市22%、習志野市67%、八千代市32%。比較的、都市部の農業集落で後継者の確保割合が高い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では30%、野菜が1位の農業集落では43%、いも類・豆類・雑穀が1位の農業集落では33%、果樹類が1位の農業集落では40%、畜産が1位の農業集落では50%であった。

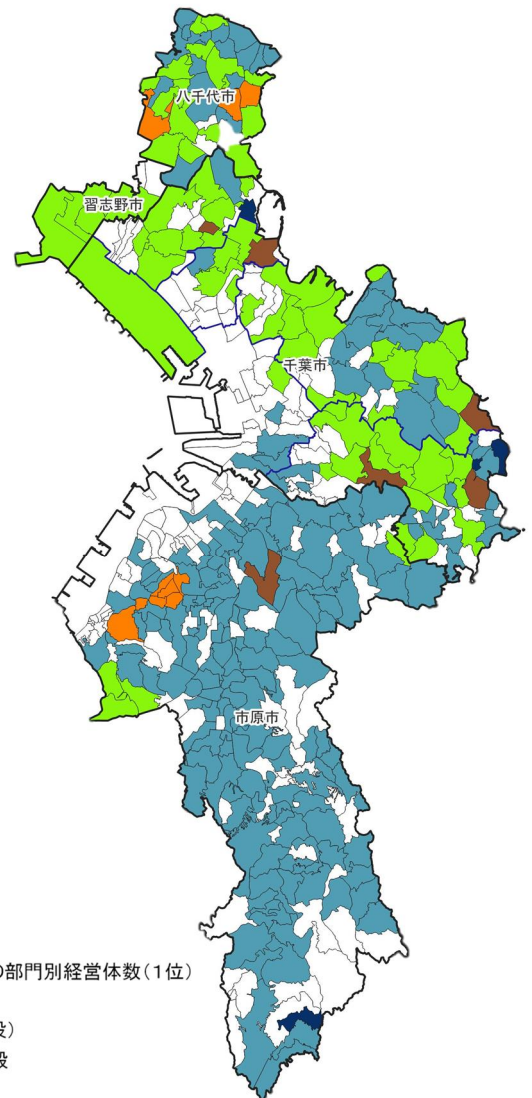
後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)

農産物販売金額1位の部門別 経営体数



5年以内の後継者の確保割合

- 75%以上
- 50 - 75
- 25 - 50
- 25%未満
- 後継者がいない、または秘匿



農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)

- 稲作
- 野菜(露地+施設)
- いも類・豆類・雑穀
- 果樹類
- 畜産
- 経営体なし、または秘匿

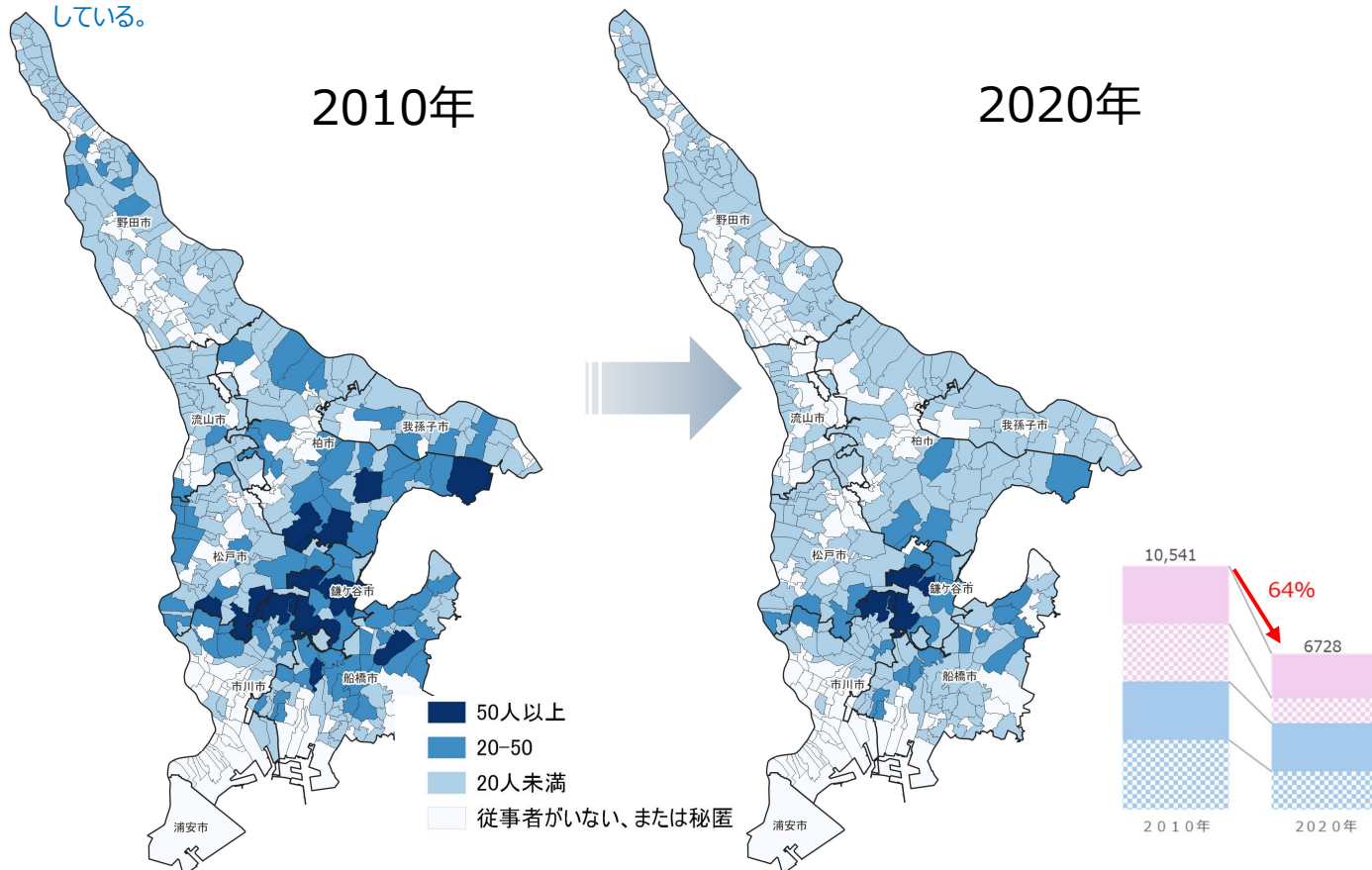
計算方法：5年以内の後継者の確保割合 = $\frac{\text{農業経営体}_5\text{年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_\text{組織形態別経営体数 (2020年センサス)}}$



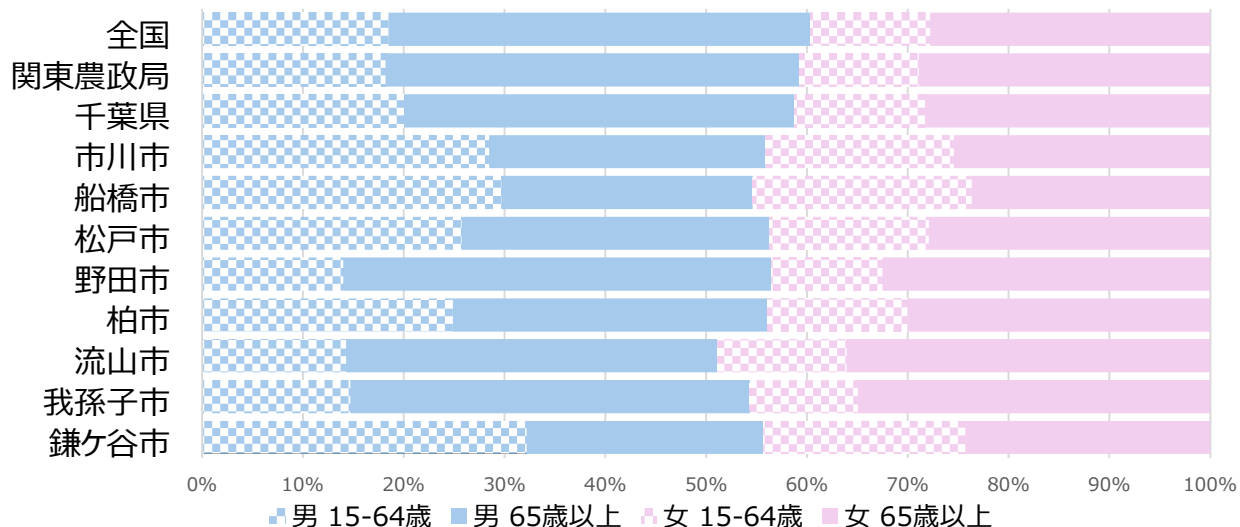
データでみる 東葛飾農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった農業集落は、柏市・松戸市などを中心に約8割減少し3農業集落のみとなった。20-50人未満の農業集落についても7割弱減少、20人未満の農業集落については1.1倍、従事者がいない、または秘匿の農業集落が1.7倍にそれぞれ増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合
(全国・関東農政局・千葉県・東葛飾農業事務所管内市町村)



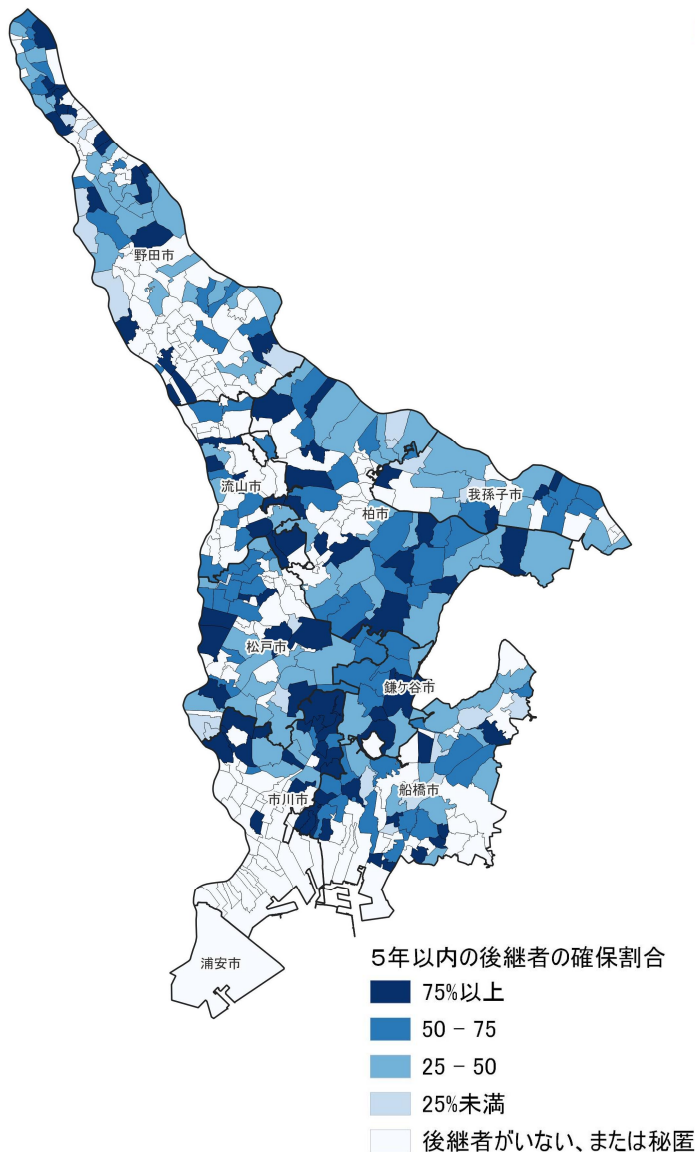


データでみる 東葛飾農業事務所管内 ～②～

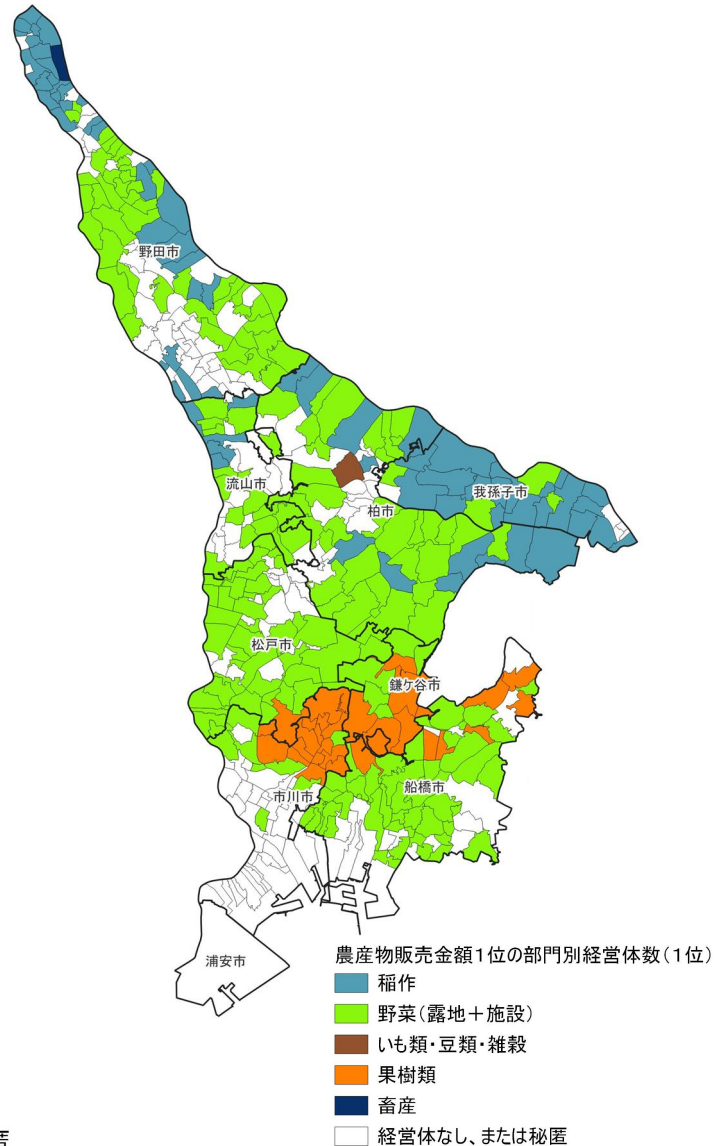
5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、東葛飾農業事務所管内全体では33%。市町村別では、市川市40%、船橋市37%、松戸市35%、野田市25%、柏市41%、流山市38%、我孫子市30%、鎌ヶ谷市70%で、とくに鎌ヶ谷市で確保割合が高い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では47%、野菜が1位の農業集落では53%、果樹類が1位の農業集落では48%、いも類・豆類・雑穀が1位の農業集落では100%、畜産が1位の農業集落では100%と、県内では比較的高い確保割合となっている。

後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)



農産物販売金額1位の部門別 経営体数



計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{\text{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}}{\text{農業経営体}_{\text{組織形態別経営体数（2020年センサス）}}}$



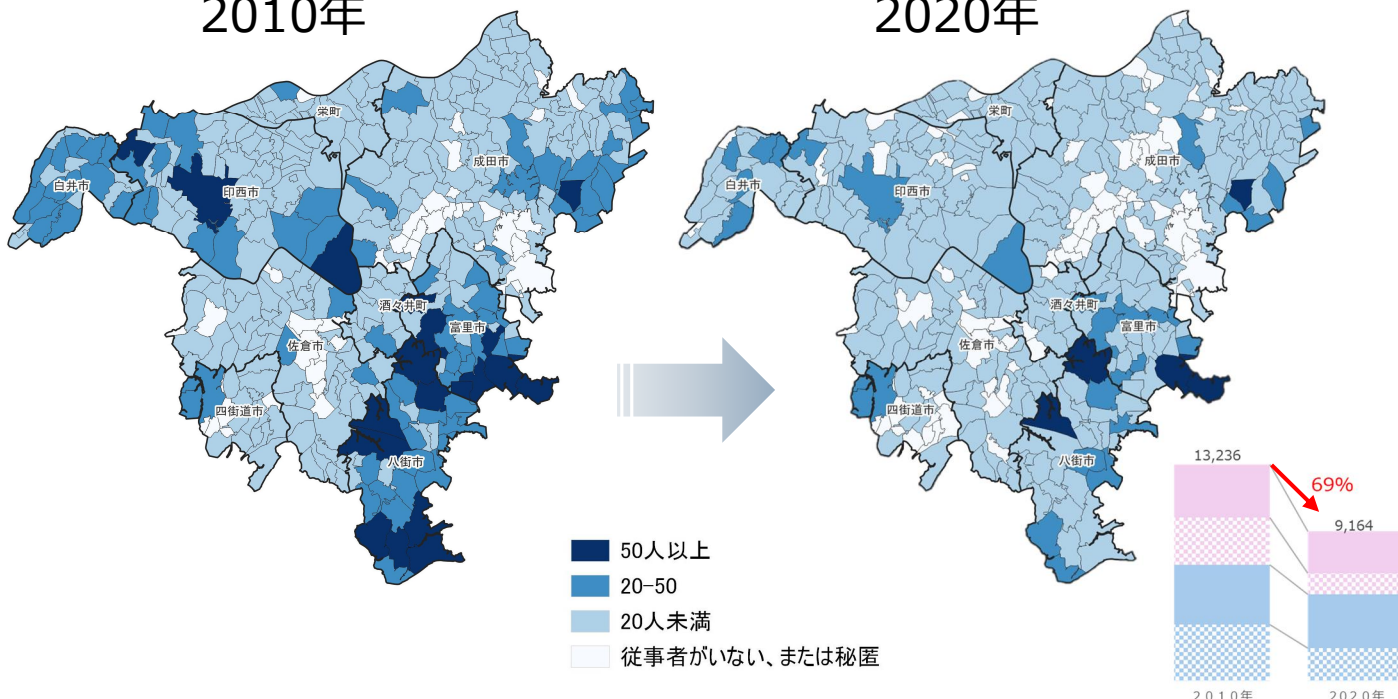
データでみる 印旛農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

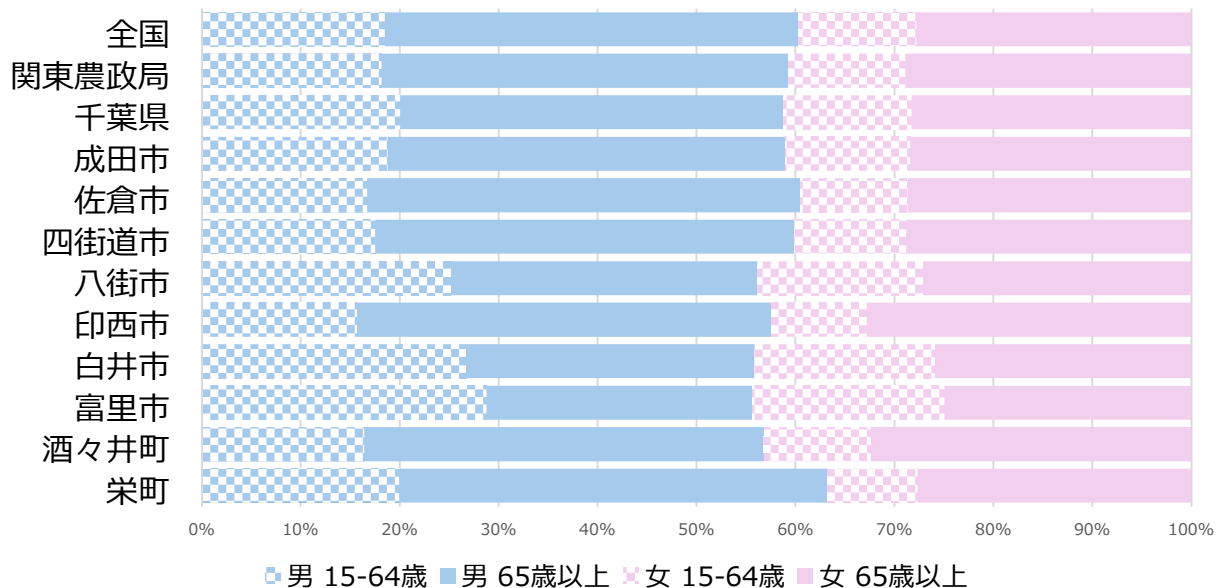
この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった農業集落は、7割強減少し5農業集落のみとなった。20-50人未満の農業集落についても7割弱減少、20人未満の農業集落については1.1倍に増加、従事者がいない、または秘匿の農業集落についても1.9倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。

2010年

2020年



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合 (全国・関東農政局・千葉県・印旛農業事務所管内市町村)





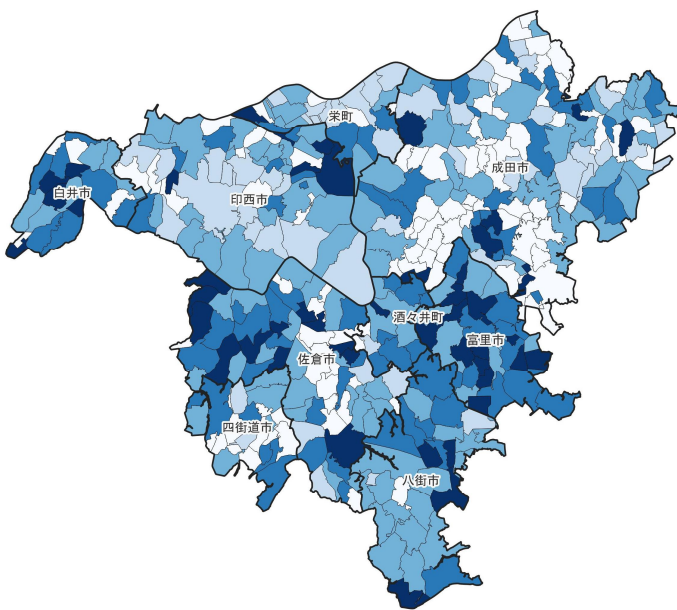
データでみる 印旛農業事務所管内 ～②～

5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、印旛農業事務所管内全体では32%。市町村別では、成田市21%、佐倉市40%、四街道市21%、八街市37%、印西市21%、白井市55%、富里市72%、酒々井町57%、栄町22%で、とくに富里市で確保割合が高い。

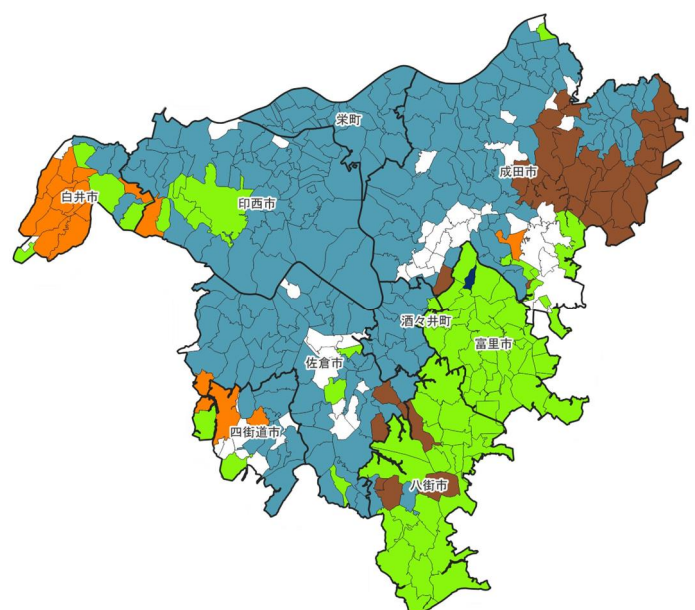
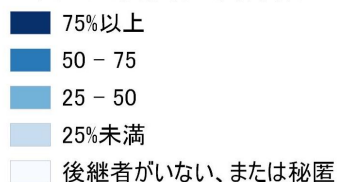
農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では32%、野菜が1位の農業集落では53%、いも類・豆類などが1位の農業集落では19%、果樹類が1位の農業集落では71%、畜産が1位の農業集落では100%であった。

後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)

農産物販売金額1位の部門別 経営体数



5年以内の後継者の確保割合



農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)



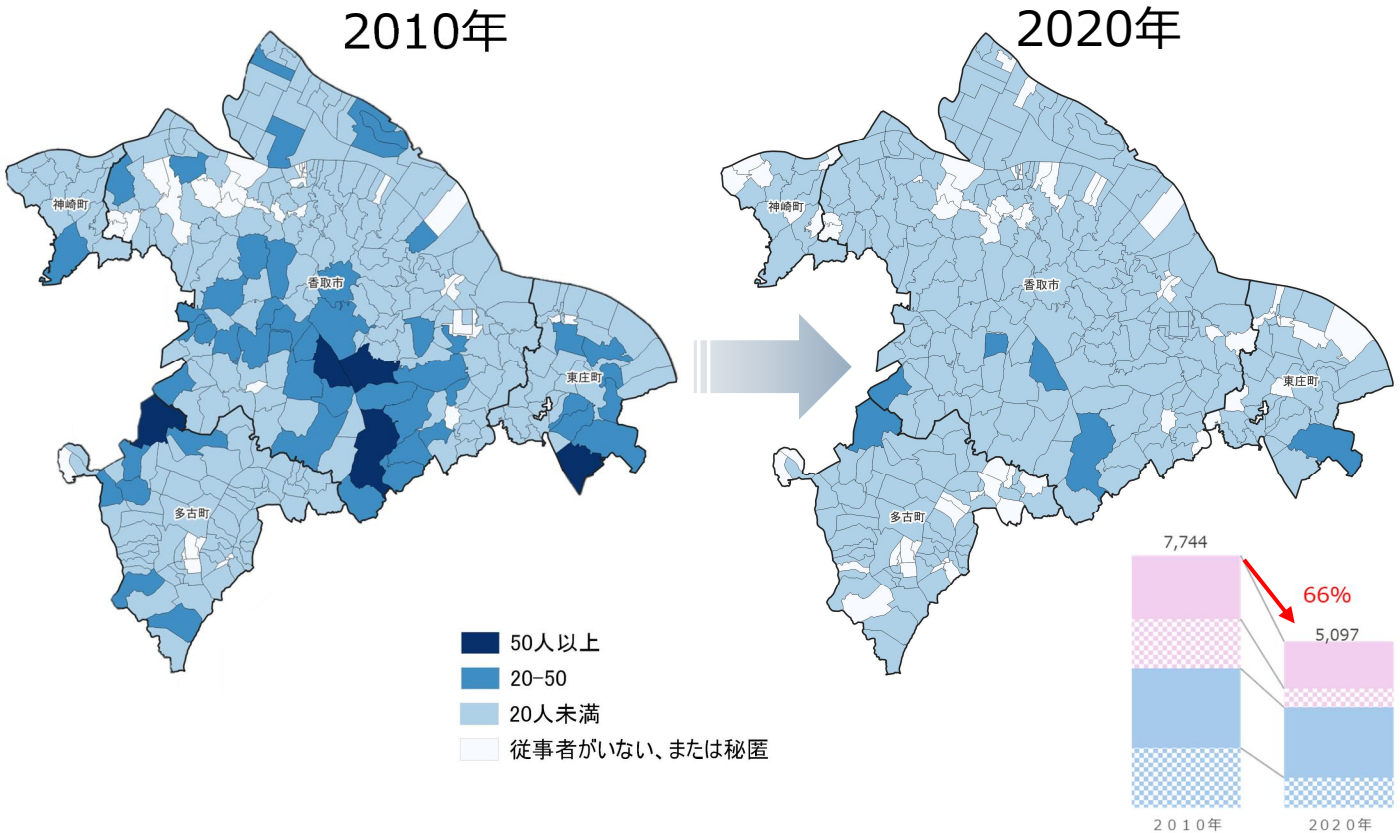
計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数(2020年センサス)}}$



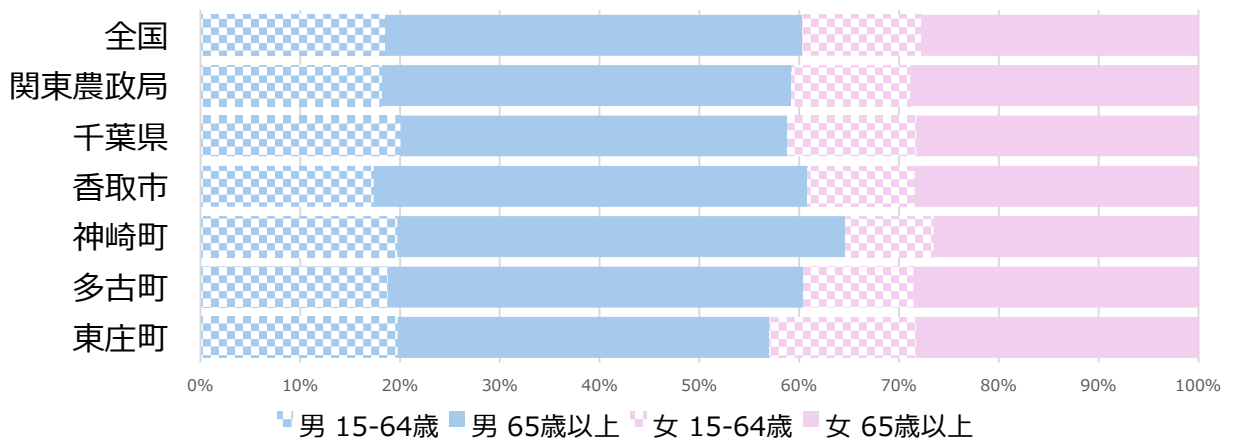
データでみる 香取農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった農業集落はなくなり、20-50人未満の農業集落については約9割減少するなど、20人以上であった農業集落は大幅に減少した。20人未満の農業集落については1割弱増えたものの、「従事者がいない、または秘匿」の農業集落が1.9倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合 (全国・関東農政局・千葉県・香取農業事務所管内市町村)





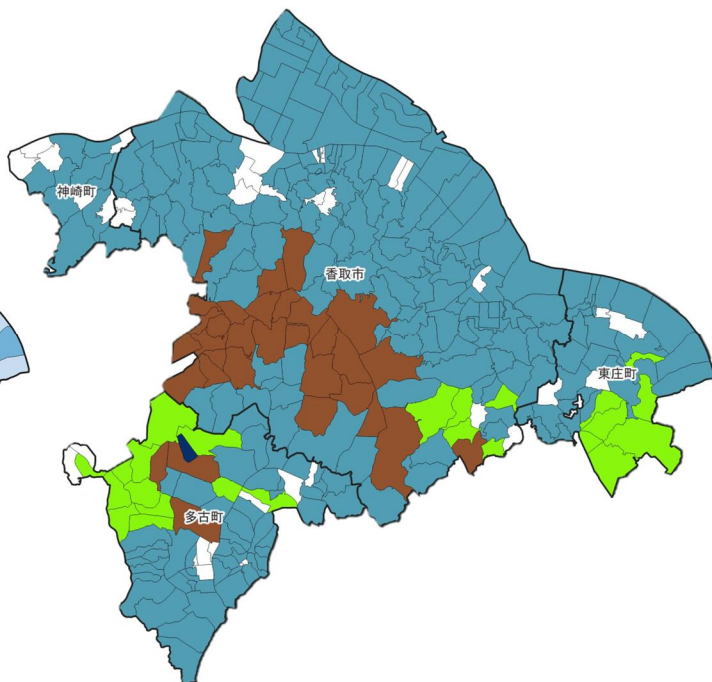
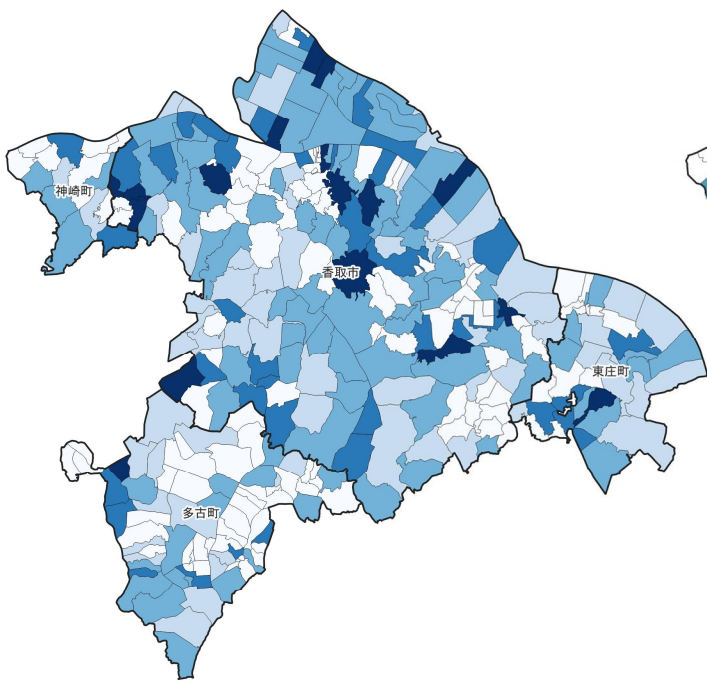
データでみる 香取農業事務所管内 ～②～

5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、香取農業事務所管内全体では18%。市町村別では、香取市21%、神崎町13%、多古町9%、東庄町16%で、多古町の確保割合が低い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では21%、野菜が1位の農業集落では21%、いも類・豆類・雑穀が1位の農業集落では13%、畜産が1位の農業集落では0%であった。

後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)

農産物販売金額1位の部門別 経営体数



5年以内の後継者の確保割合

- 75%以上
- 50 - 75
- 25 - 50
- 25%未満
- 後継者がいない、または秘匿

農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)

- 稲作
- 野菜(露地+施設)
- いも類・豆類・雑穀
- 果樹類
- 花き・花木
- 畜産
- 工芸作物・その他作物
- 経営体なし、または秘匿

計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数(2020年センサス)}}$



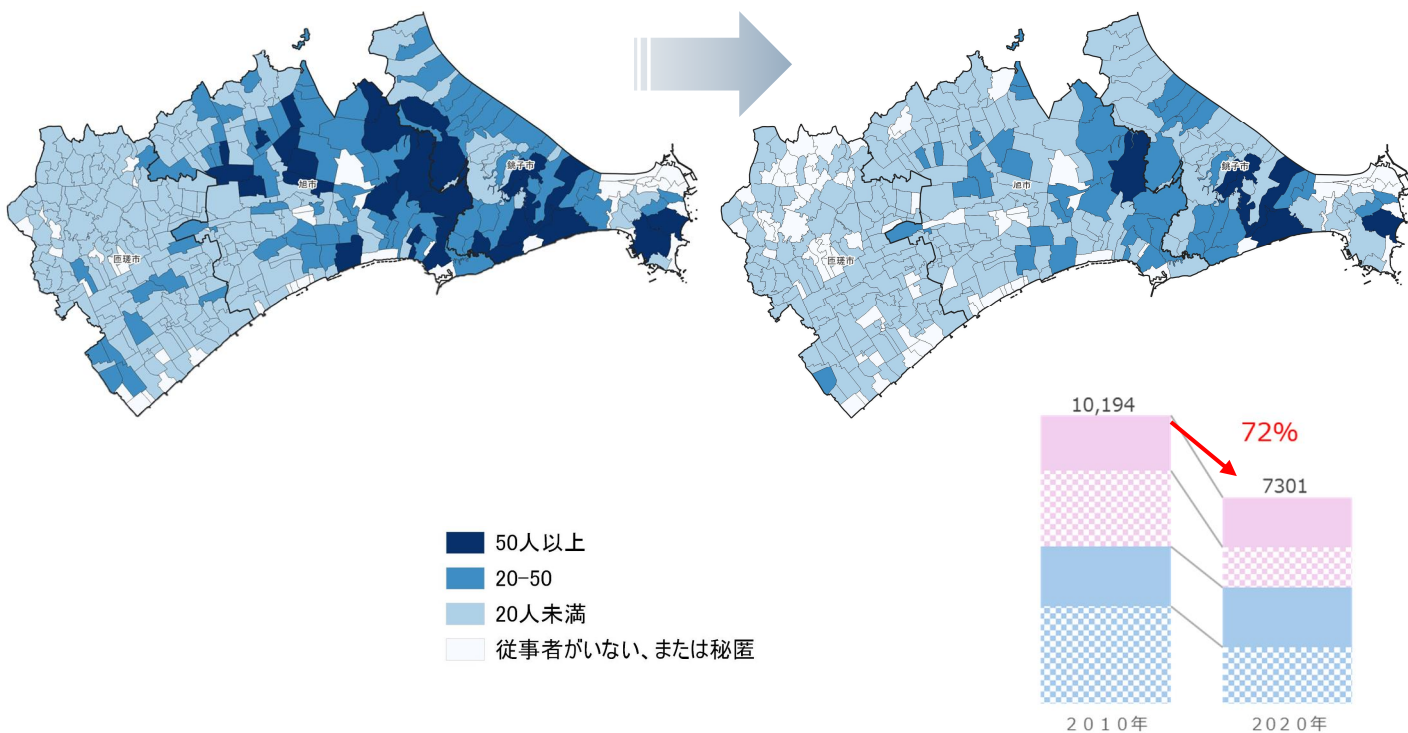
データでみる 海匠農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

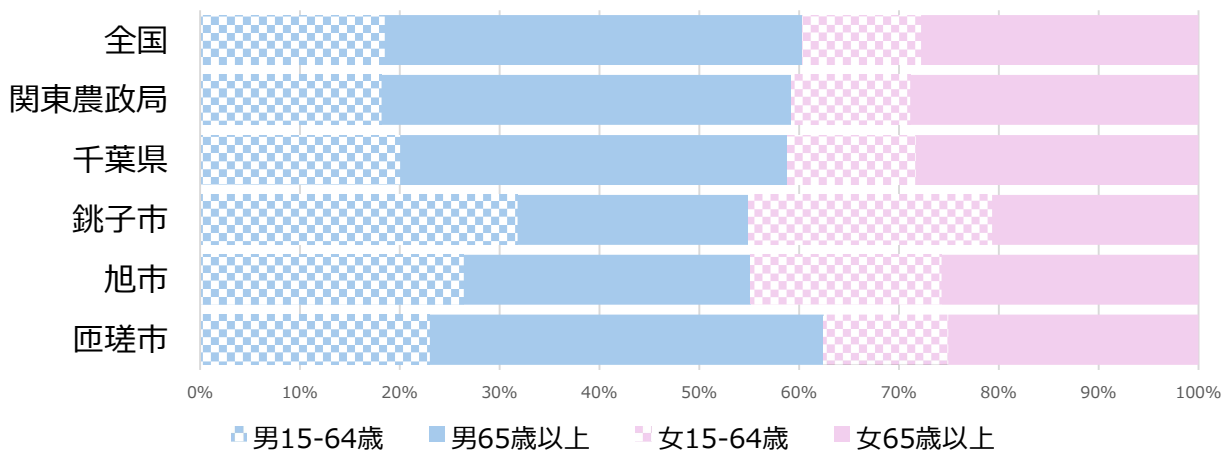
この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった農業集落は約 8 割減少し、6 農業集落のみとなった。20-50人未満の農業集落についても約 5 割減少、20人未満の農業集落については1.1倍に増加、または秘匿の農業集落が 2 倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。とくに、匝瑳市北部での減少が顕著となっている。

2010年

2020年



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合 (全国・関東農政局・千葉県・海匠農業事務所管内市町村)



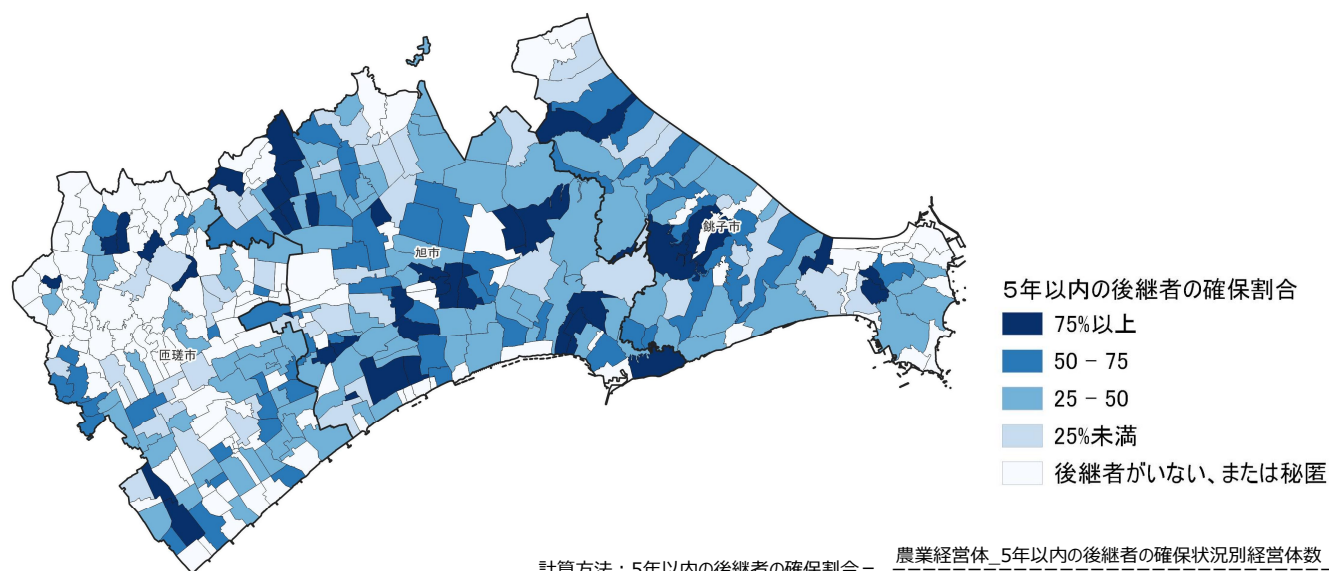


データでみる 海匠農業事務所管内 ～②～

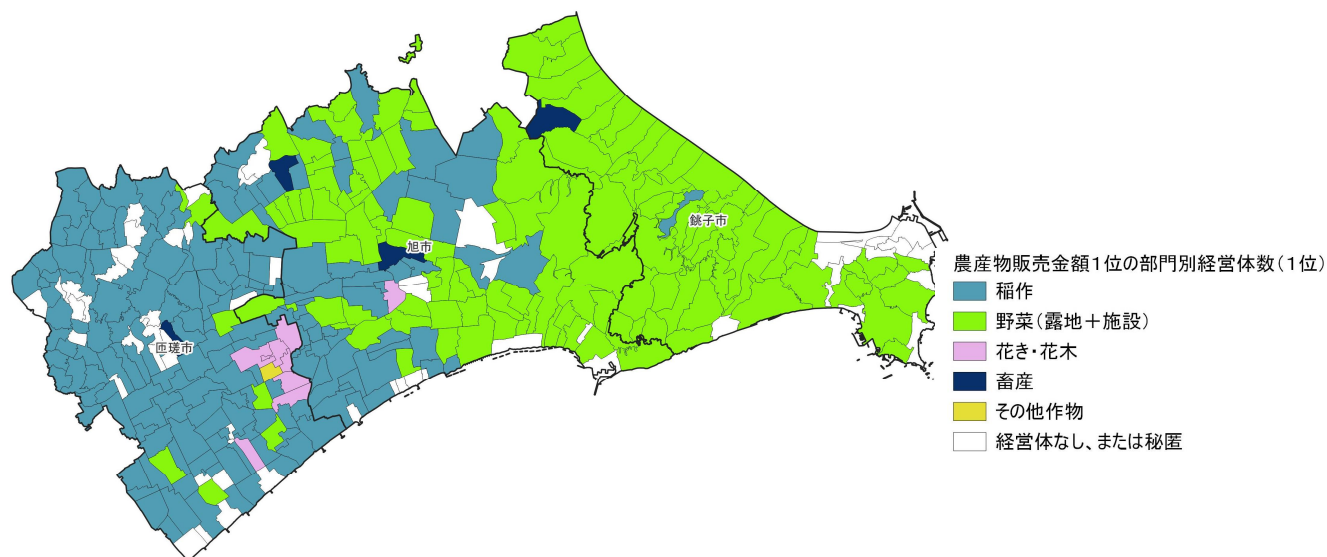
5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、海匠農業事務所管内全体では27%。市町村別では、銚子市28%、旭市36%、匠瑳市17%で、稲作中心の匠瑳市の確保割合が低い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では26%、野菜が1位の農業集落では38%、花き・花木が1位の農業集落では38%、畜産が1位の農業集落では50%、その他作物が1位の農業集落では0%であった。

後継者の状況（5年以内の後継者の確保割合）



農産物販売金額1位の部門別経営体数

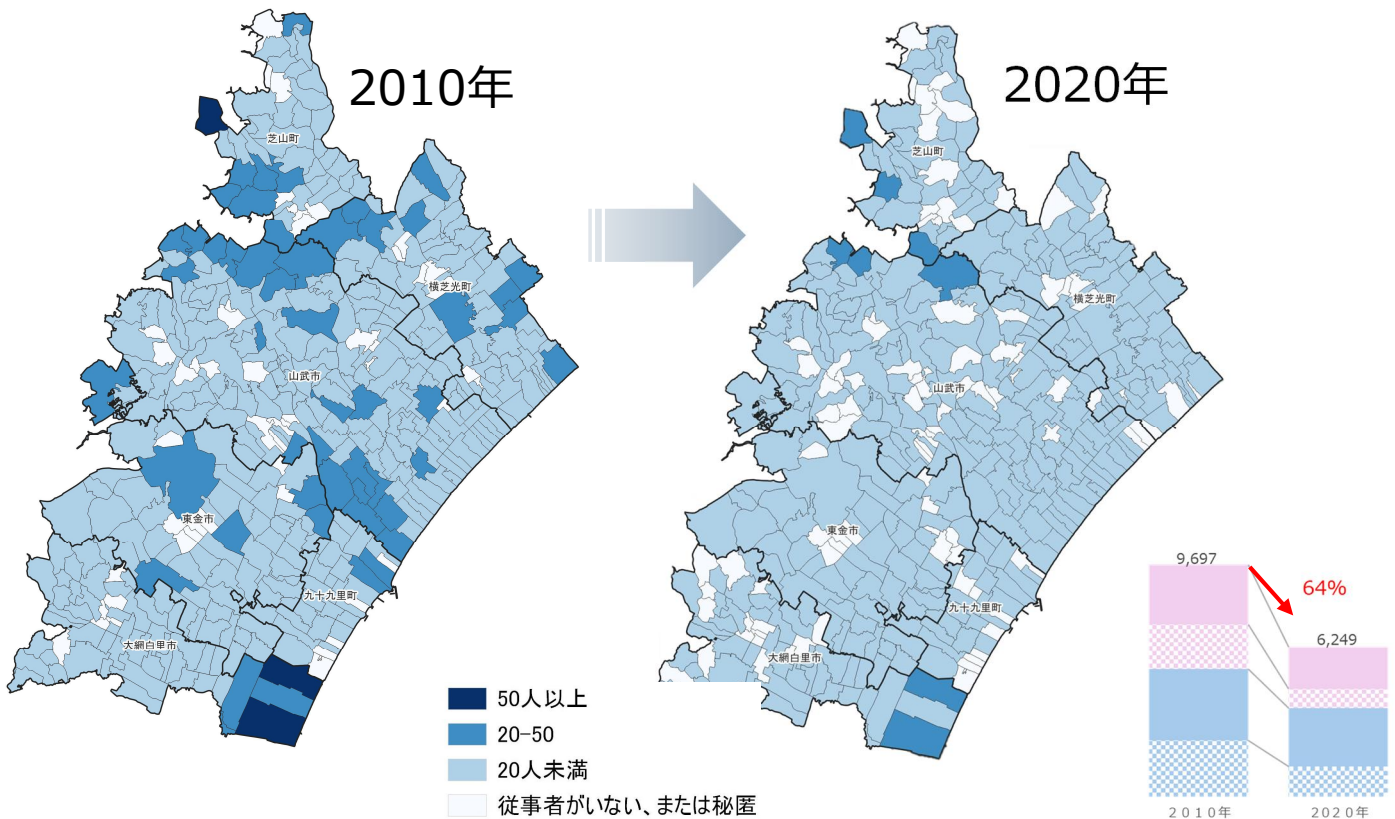




データでみる 山武農業事務所管内 ～①～

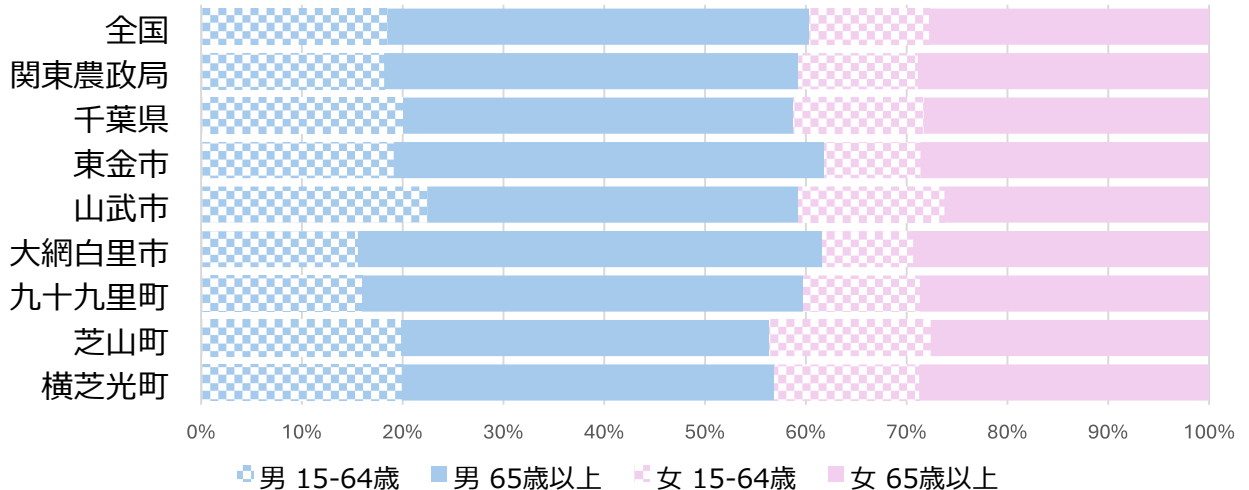
65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった3農業集落は、すべて50人未満となった。20-50人未満の農業集落についても8割強減少、20人未満の農業集落については維持されたものの、従事者がいない、または秘匿の農業集落が1.8倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合

(全国・関東農政局・千葉県・山武農業事務所管内市町村)



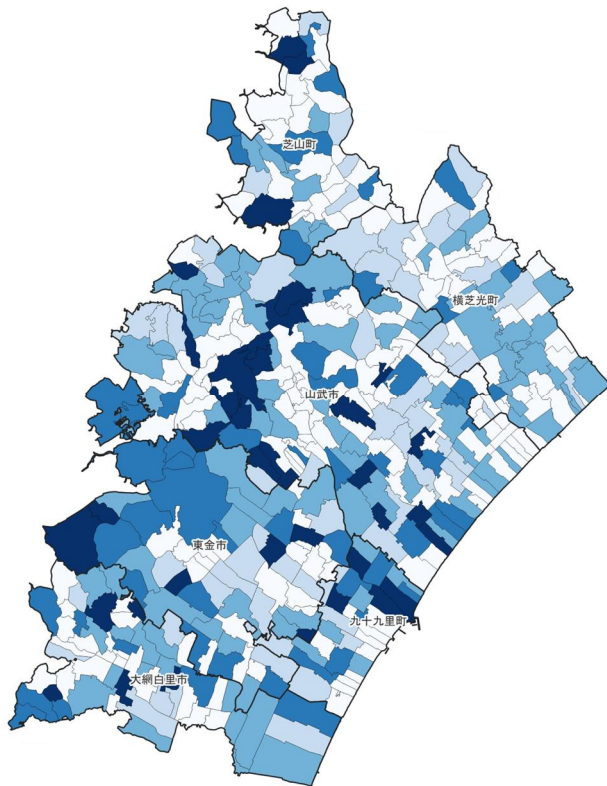


データでみる 山武農業事務所管内 ～②～

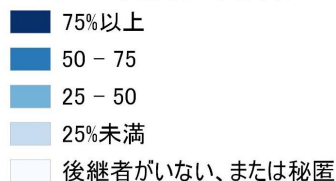
5年以内に後継者を5割以上確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、山武農業事務所管内全体では22%。市町村別では、東金市33%、山武市22%、大網白里市22%、九十九里町31%、芝山町22%、横芝光町7%となり、とくに横芝光町での確保割合が低い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では23%、野菜が1位の農業集落では31%、いも類・豆類・雑穀及び、花き・花木が1位の農業集落では50%、工芸作物が1位の農業集落では0%であった。

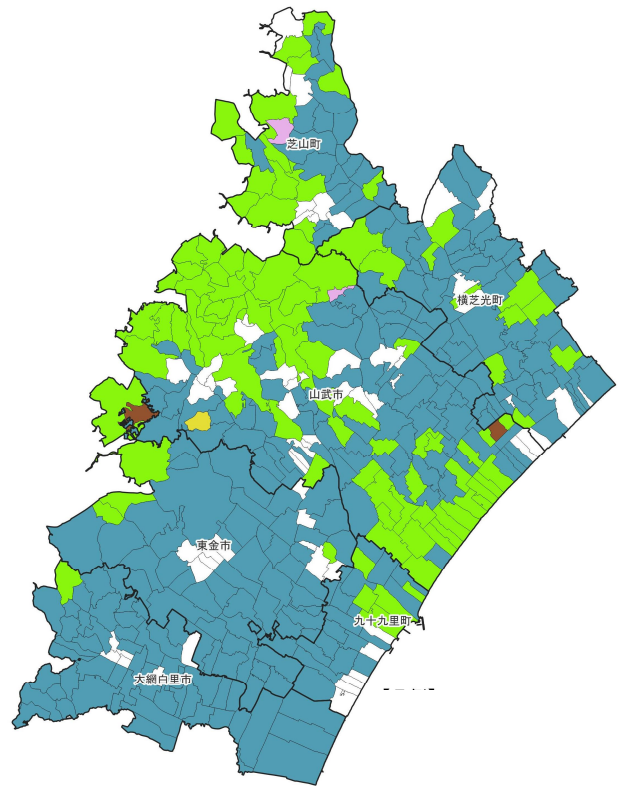
後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)



5年以内の後継者の確保割合



農産物販売金額1位の部門別 経営体数



農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)



計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数（2020年センサス）}}$



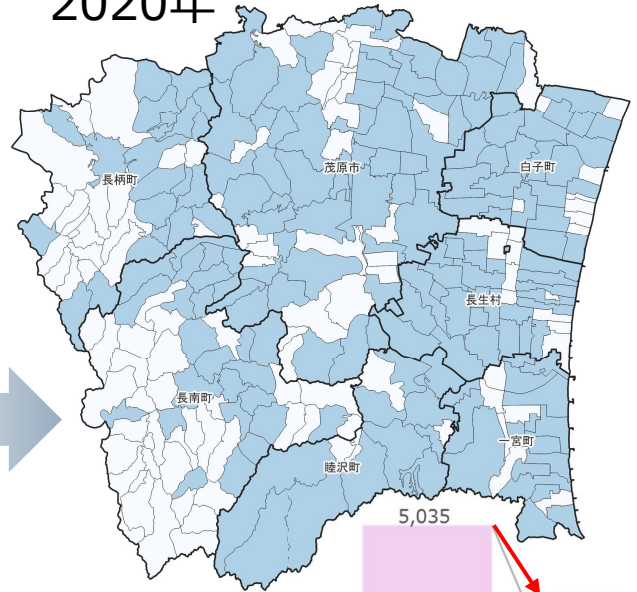
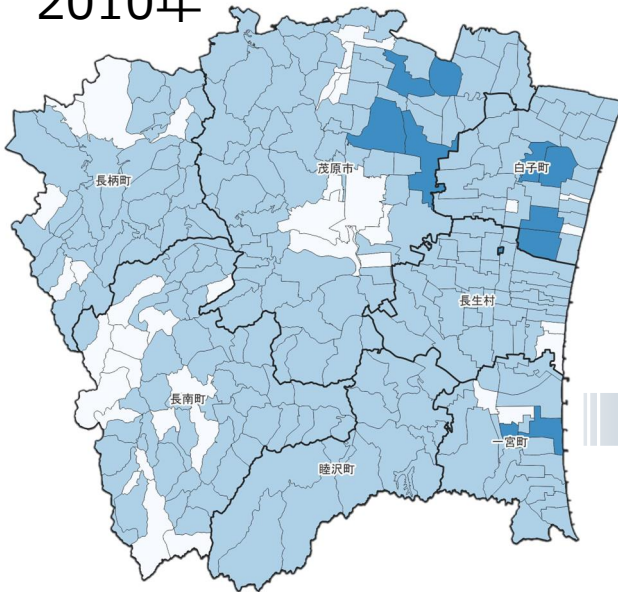
データでみる 長生農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

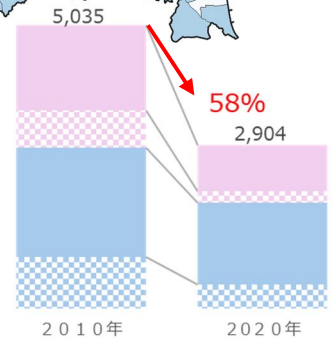
この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が20人以上であった農業集落はなくなり、すべて20人未満となった。その20人未満の農業集落も25%減少、従事者がいない、または秘匿の農業集落が2.8倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。

2010年

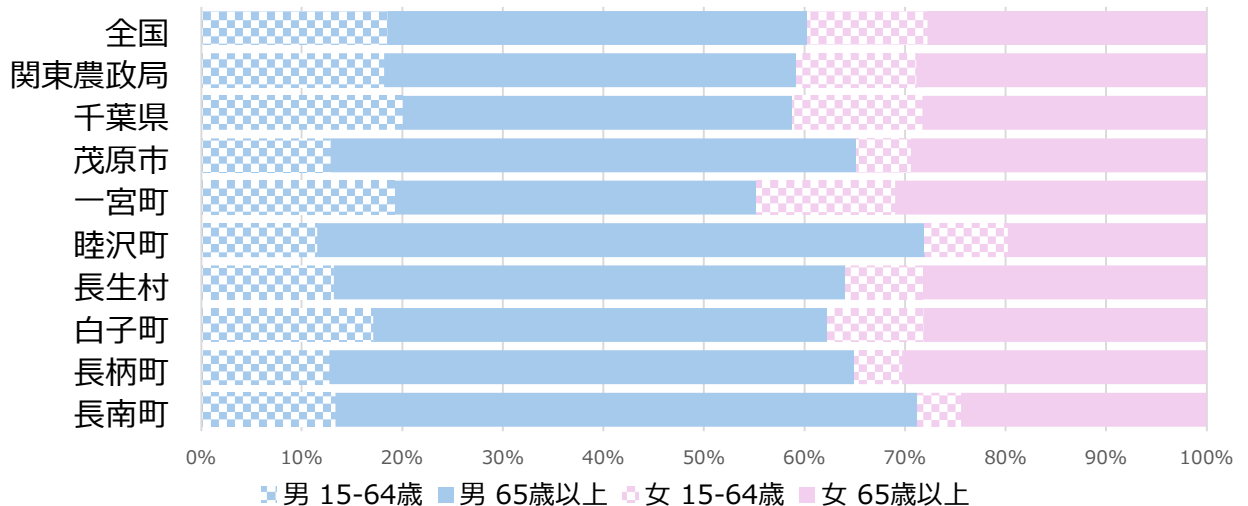
2020年



- 50人以上
- 20-50
- 20人未満
- 従事者がいない、または秘匿



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合 (全国・関東農政局・千葉県・長生農業事務所管内市町村)



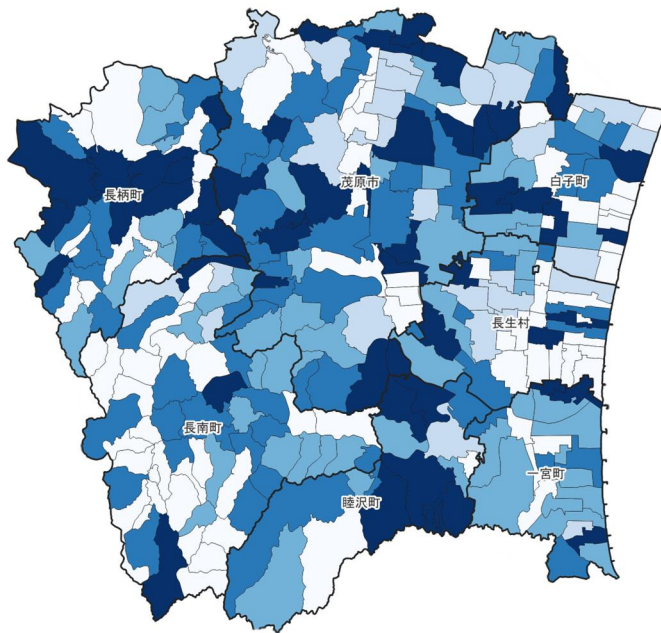


データでみる 長生農業事務所管内 ～②～

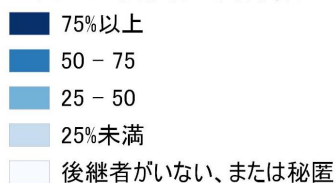
5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、長生農業事務所管内全体では41%。市町村別では、茂原市51%、一宮町30%、睦沢町53%、長生村29%、白子町29%、長柄町56%、長南町34%で、とくに茂原市、睦沢町、長柄町で確保割合が高い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では49%、野菜が1位の農業集落では45%、果樹類が1位の農業集落では25%、花き・花木が1位の農業集落では100%であった。65歳未満の基幹的農業従事者数は多くはないものの、比較的高い確保割合となっている。

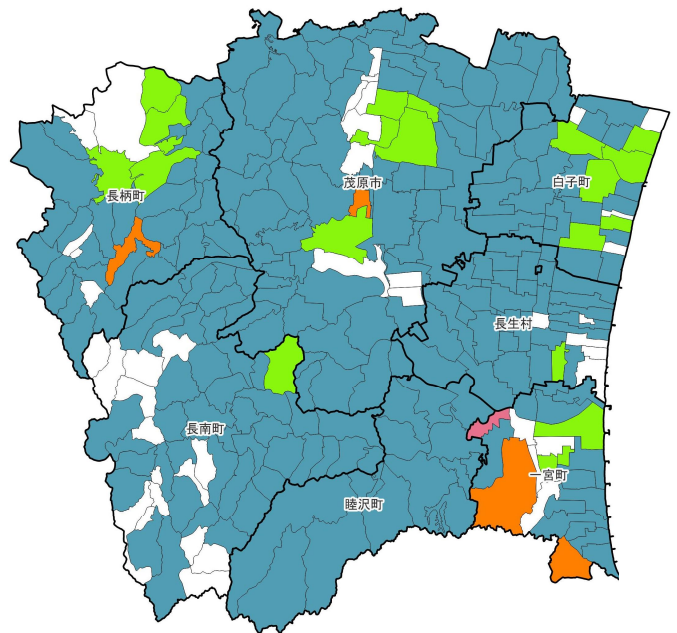
後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)



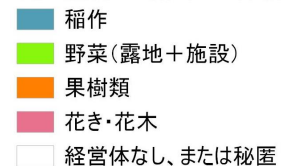
5年以内の後継者の確保割合



農産物販売金額1位の部門別 経営体数



農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)



計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数（2020年センサス）}}$



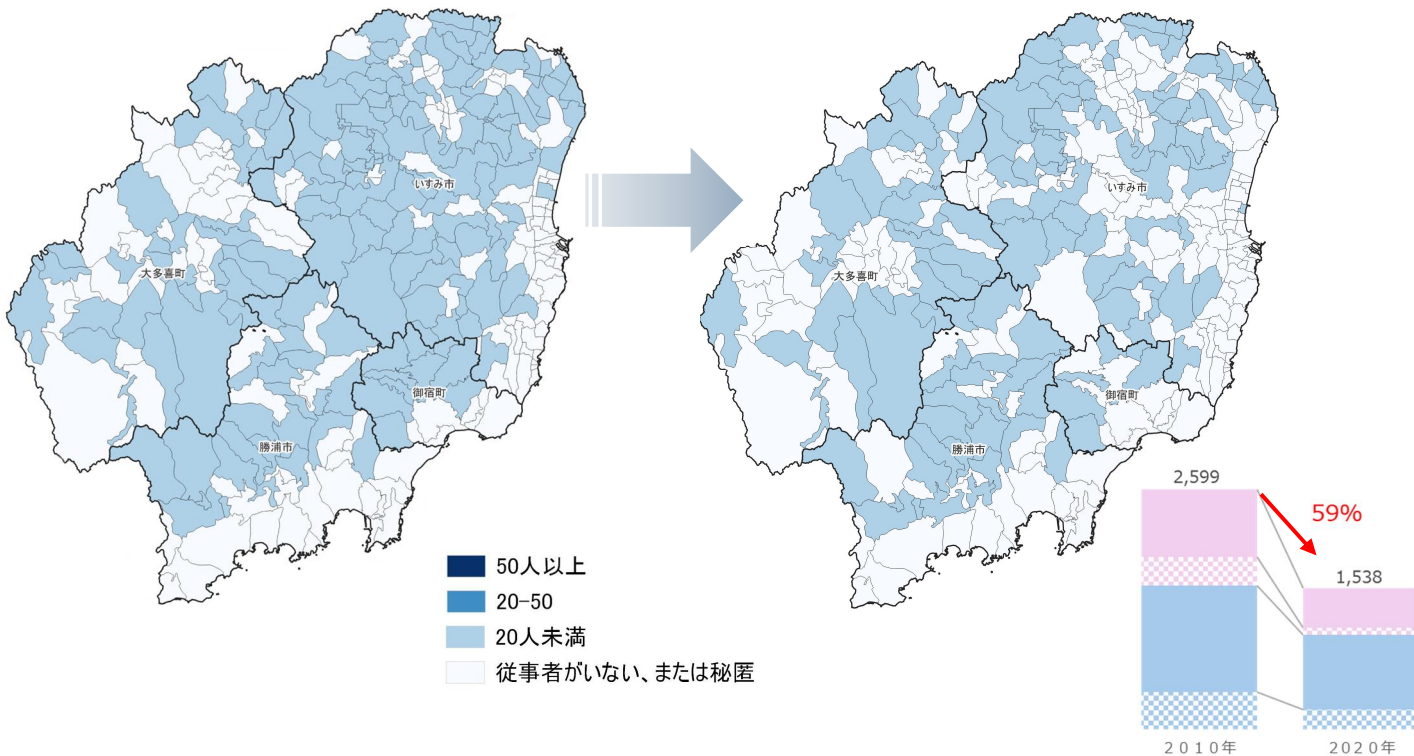
データでみる 夷隅農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が20人未満の農業集落については約3割減少、従事者がいない、または秘匿の農業集落は1.3倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。

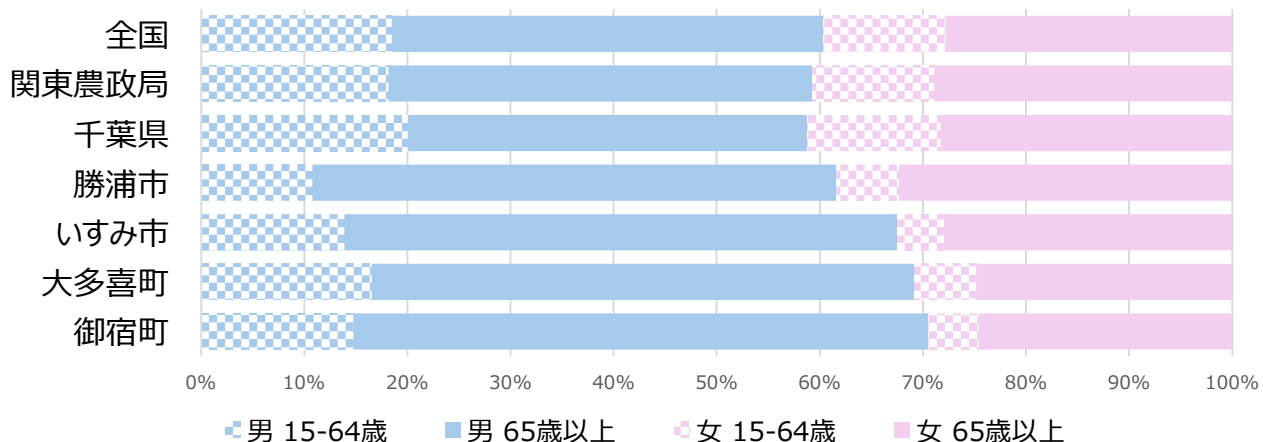
2010年

2020年



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合

(全国・関東農政局・千葉県・夷隅農業事務所管内市町村)



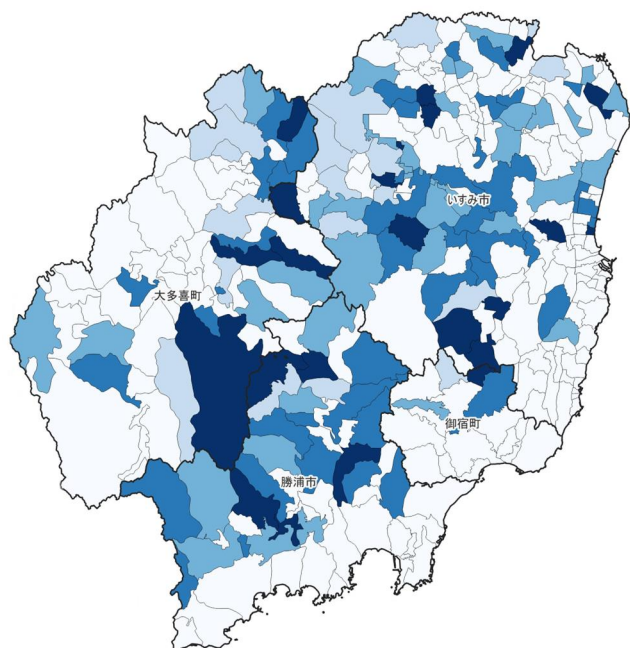


データでみる 夷隅農業事務所管内 ～②～

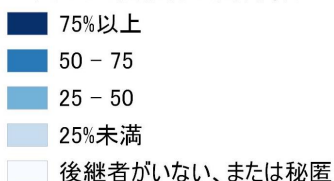
5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿を含む）は、夷隅農業事務所管内全体では22%。市町村別では、勝浦市33%、いすみ市20%、大多喜町22%、御宿町13%であった。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では38%、野菜が1位の農業集落では33%、果樹類が1位の農業集落では33%、畜産が1位の農業集落では100%、その他作物が1位の農業集落では50%であった。

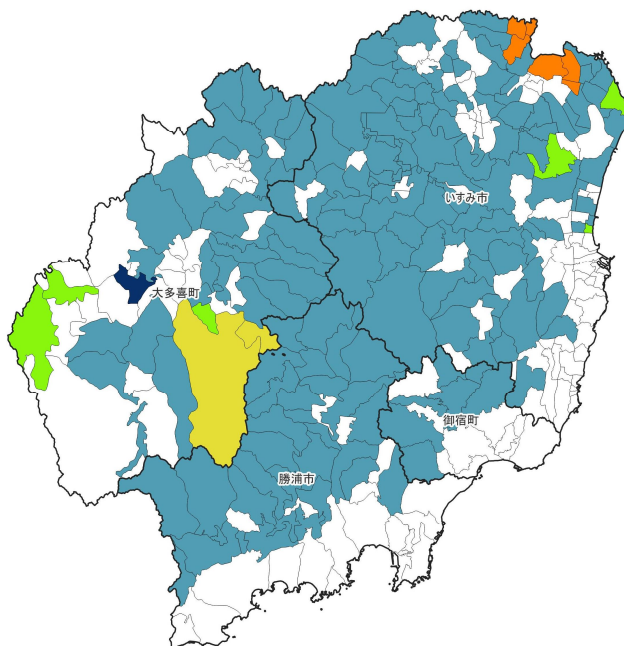
後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)



5年以内の後継者の確保割合



農産物販売金額1位の部門別 経営体数



農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)



計算方法：5年以内の後継者の確保割合 = $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数(2020年センサス)}}$



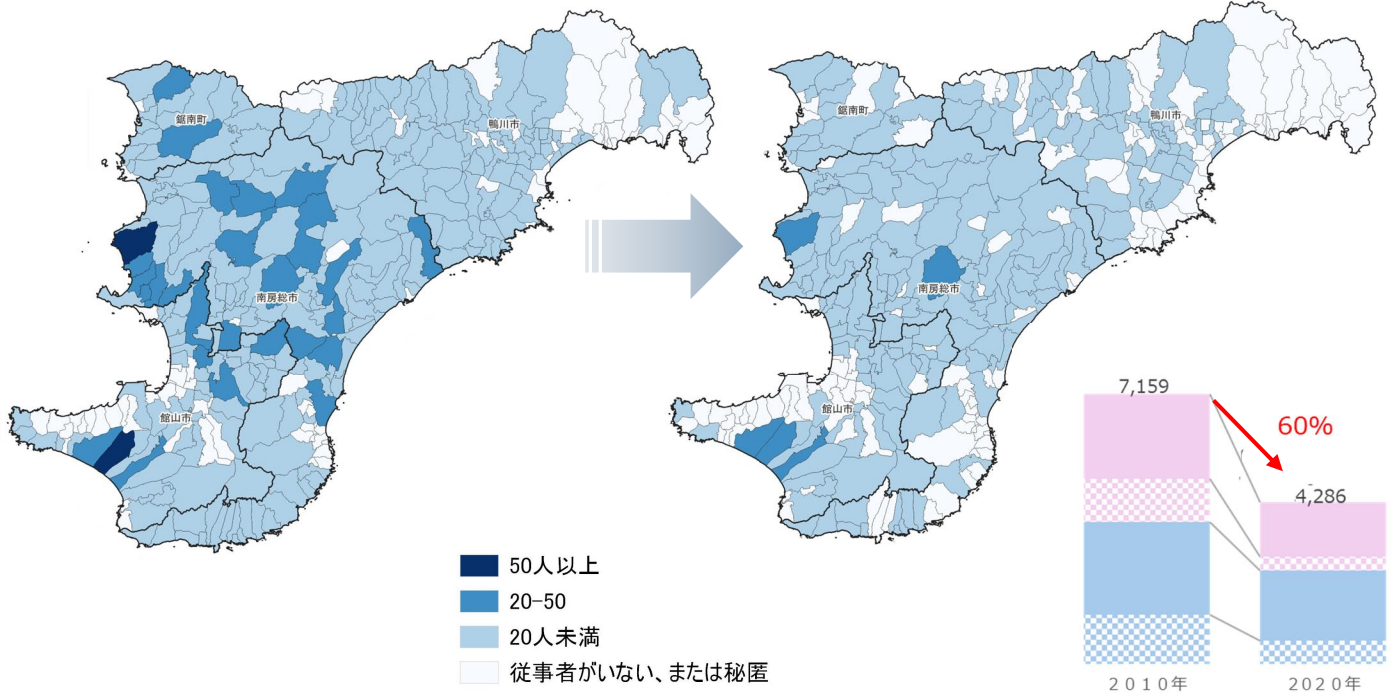
データでみる 安房農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

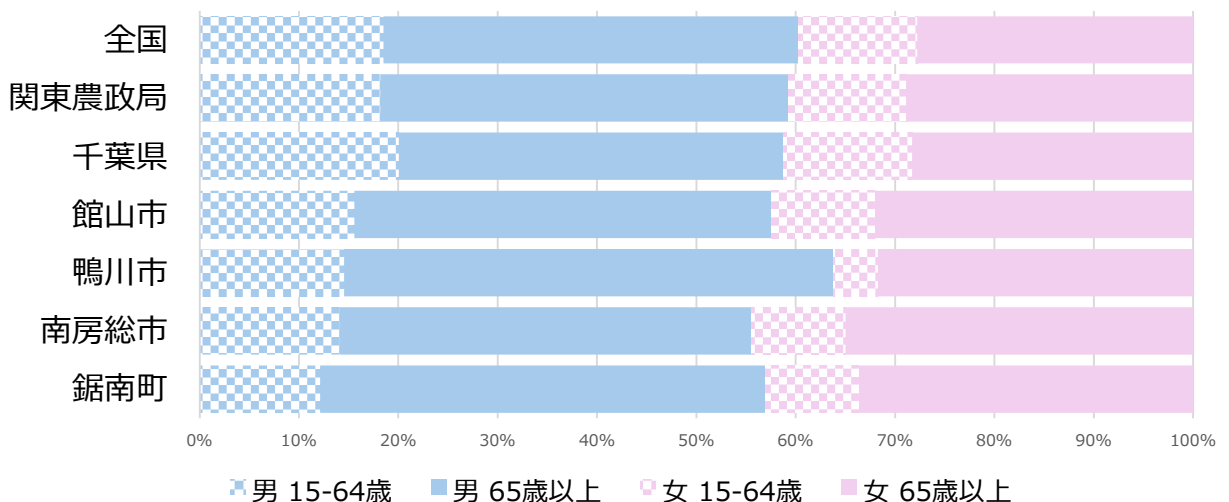
この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が50人以上であった2農業集落は50人未満となり、50人以上の農業集落はなくなった。20-50人未満の農業集落は約8割、20人未満の農業集落は2割弱、それぞれ減少、従事者がいない、または秘匿の農業集落が1.8倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。

2010年

2020年



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合 (全国・関東農政局・千葉県・安房農業事務所管内市町村)



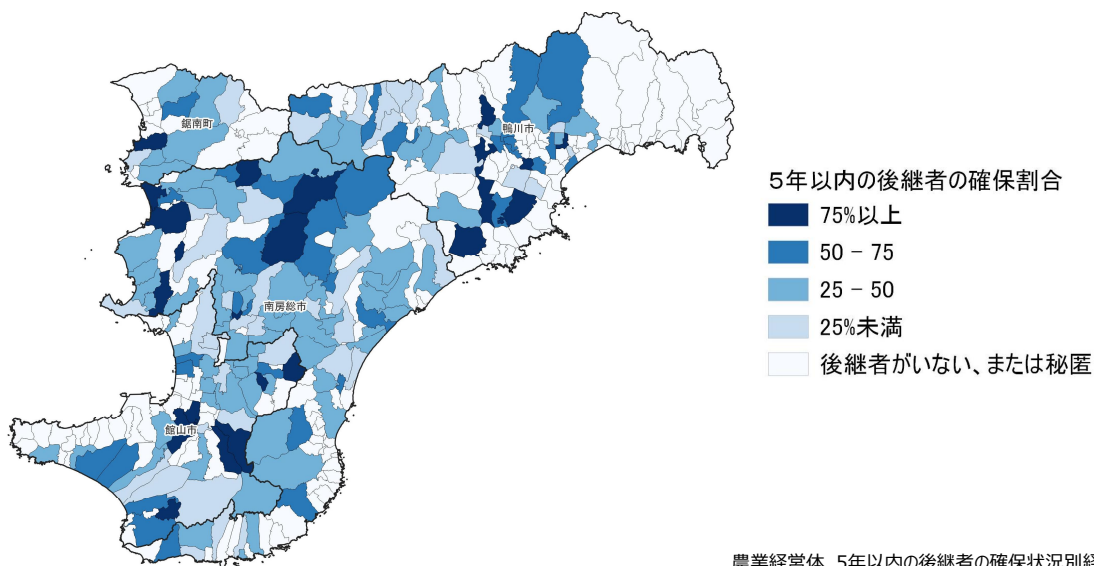


データでみる 安房農業事務所管内 ～②～

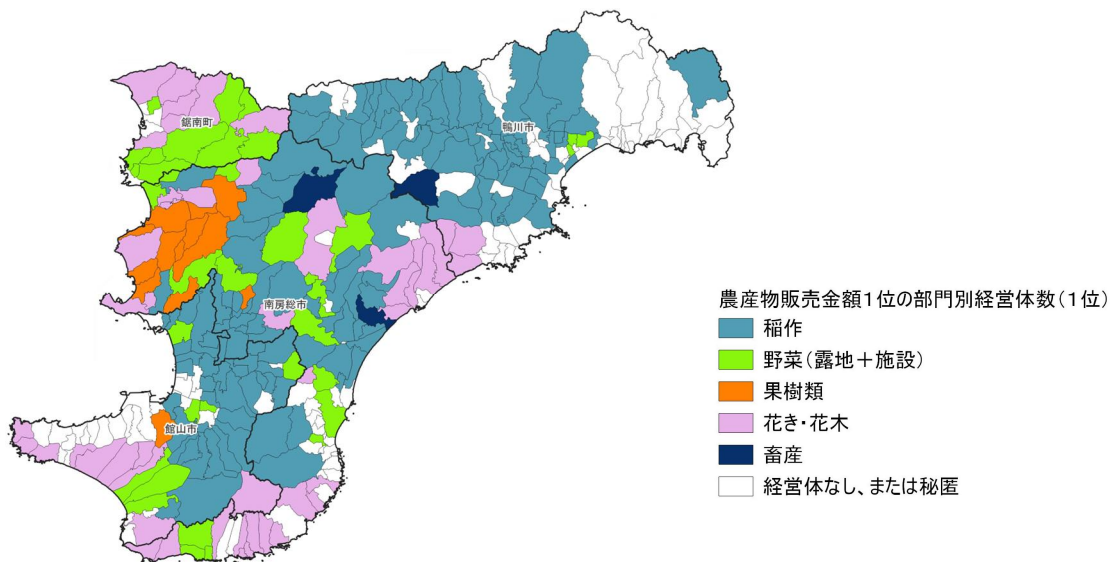
5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、安房農業事務所管内全体では17%。市町村別では、館山市、鴨川市、南房総市が18%で同一である一方、鋸南町は10%と確保割合が低い。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では27%、野菜が1位の農業集落では17%、果樹類が1位の農業集落では15%、花き・花木が1位の農業集落では23%、畜産が1位の農業集落では67%であった。

後継者の状況（5年以内の後継者の確保割合）



農産物販売金額1位の部門別経営体数





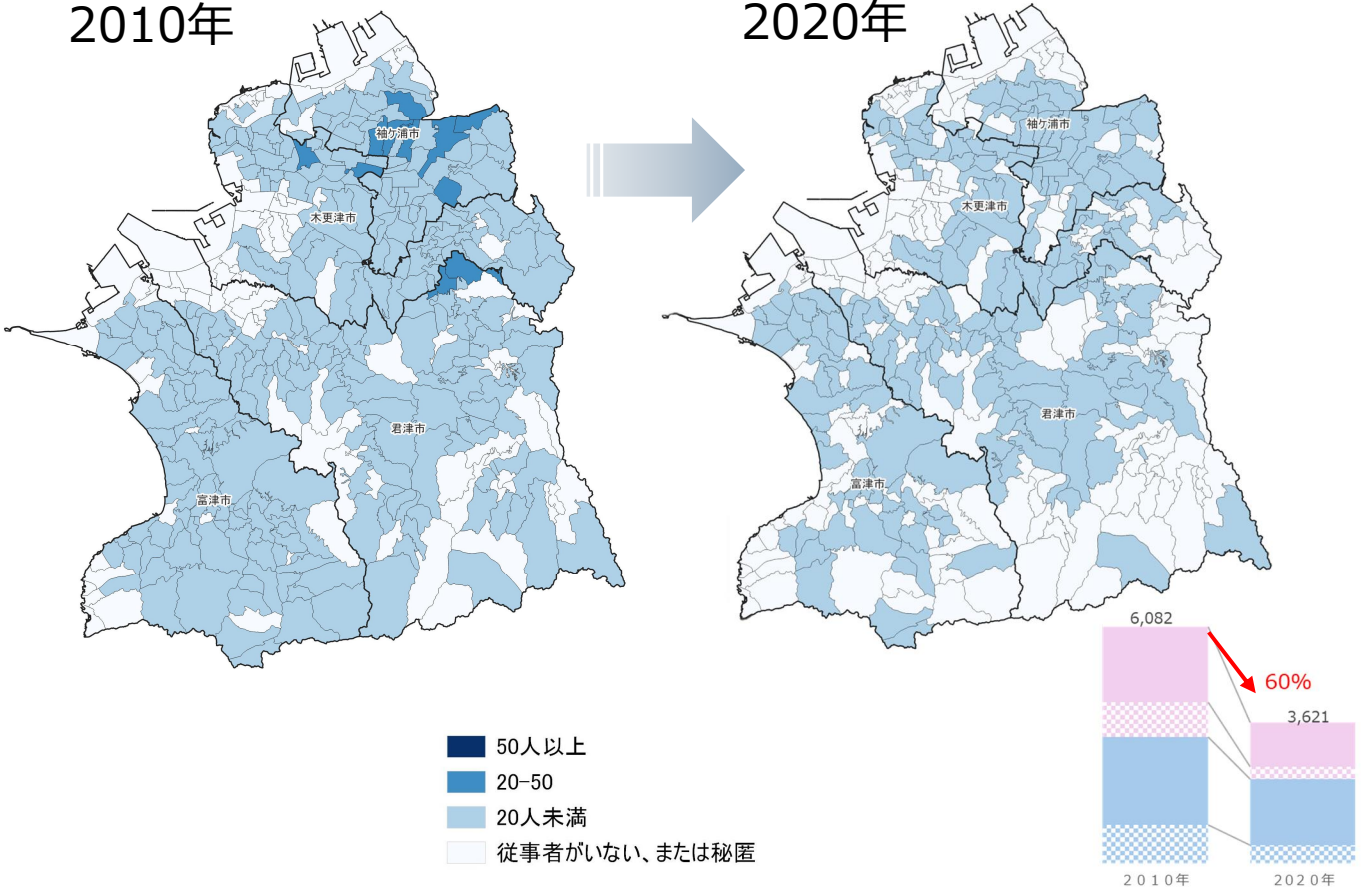
データでみる 君津農業事務所管内 ～①～

65歳未満の基幹的農業従事者数の推移

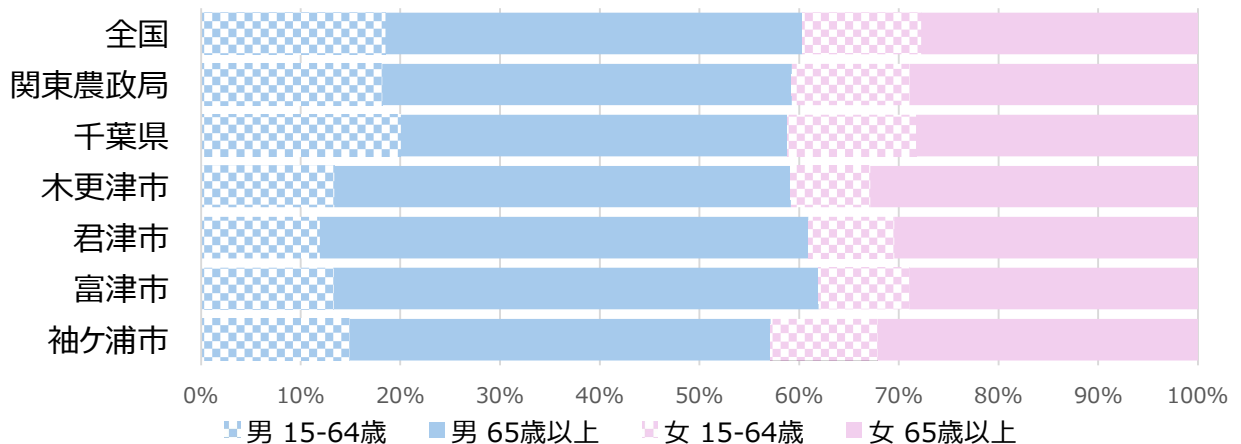
この10年間で「65歳未満の基幹的農業従事者」が20-50人未満の11農業集落について、すべて20人未満となり、管内から20人以上の農業集落がなくなった。20人未満の農業集落についても3割弱減少、従事者がいない、または秘匿の農業集落は1.9倍に増加するなど、高齢化が進むとともに基幹的な担い手が減少している。

2010年

2020年



基幹的農業従事者の男女別年齢構成割合 (全国・関東農政局・千葉県・千葉農業事務所管内市町村)



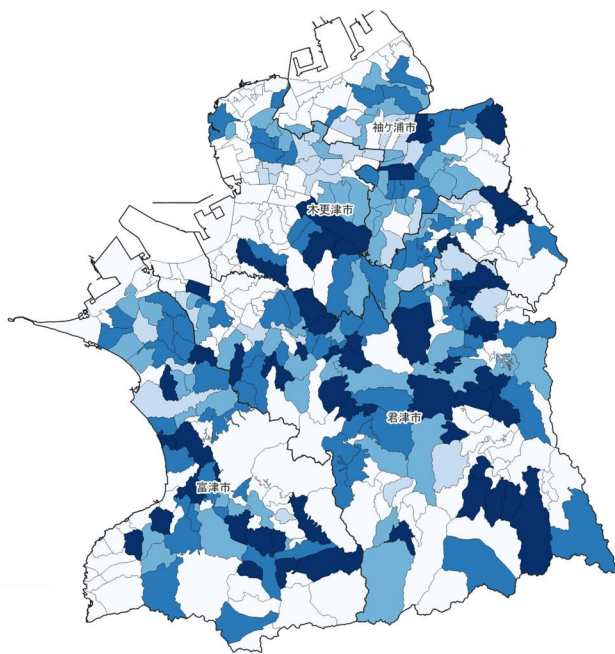


データでみる 君津農業事務所管内 ～②～

5年以内に5割以上後継者を確保している農業集落の割合（後継者がいない、または秘匿の農業集落を含む）は、君津農業事務所管内全体では34%。市町村別では、木更津市25%、君津市41%、富津市39%、袖ヶ浦市23%であった。一部の中山間的な地域において、比較的高い割合で確保されている。

農作物販売金額1位の部門別における、5年以内に5割以上後継者を確保している割合は、稲作が1位の農業集落では48%、野菜が1位の農業集落では43%、いも類・豆類・雑穀が1位の農業集落では25%、果樹類が1位の農業集落では33%、花き・花木が1位の農業集落では0%、畜産が1位の農業集落では50%であった。

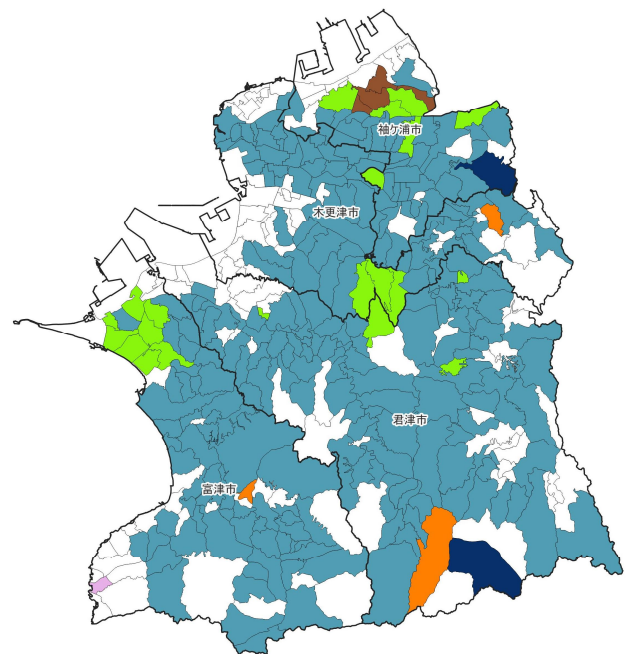
後継者の状況 (5年以内の後継者の確保割合)



5年以内の後継者の確保割合

- 75%以上
- 50 - 75
- 25 - 50
- 25%未満
- 後継者がいない、または秘匿

農産物販売金額1位の部門別 経営体数



農産物販売金額1位の部門別経営体数(1位)

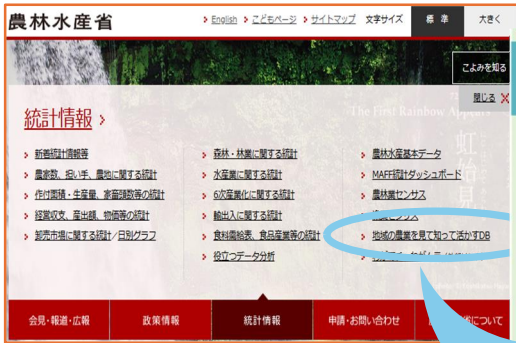
- 稲作
- 野菜(露地+施設)
- いも類・豆類・雑穀
- 果樹類
- 花き・花木
- 畜産
- 経営体なし、または秘匿

計算方法：5年以内の後継者の確保割合＝ $\frac{\text{農業経営体}_{5年以内の後継者の確保状況別経営体数}}{\text{農業経営体}_{組織形態別経営体数（2020年センサス）}}$



詳しいことは、農林水産省HP「統計情報」をご覧ください

地域の農業を見て・知って・活かすDB

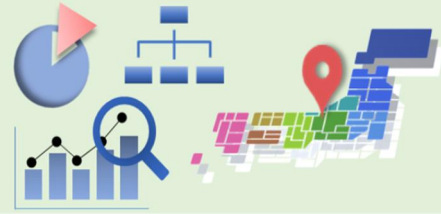


地域の農業を見て・知って・活かすDBで

地域農業に関するデータを

利用者が
自由に分析

地図で可視化



どうやって利用するの？

活かすDBの
利用方法

操作動画も見られます

どんな分析ができるの？

分析事例

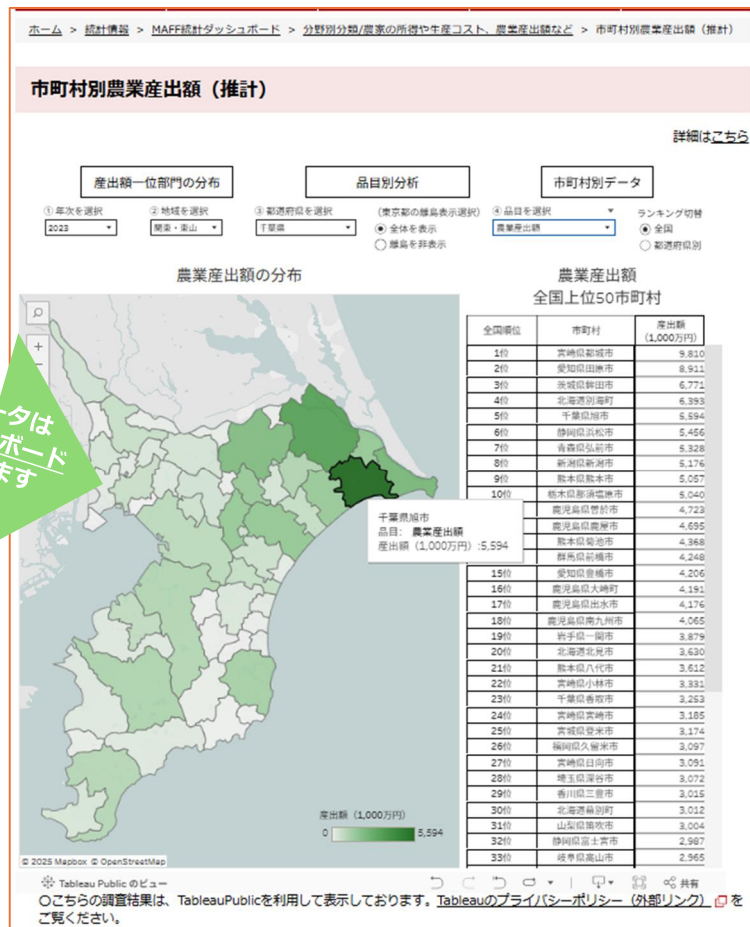
掲載項目や単位が知りたい！

地域の農業を見て・
知って・活かすDBの
データ一覧(PDF:
1,002KB)

地域の農業を見て・知って・活かすDBとは？

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」は、農業集落（全国約15万）を単位として、農林業センサスの結果と各種情報とを組み合わせて農林水産省が独自に加工・再編成したデータを提供するものです。地域農業の現状をグラフや地図で見える化することや、国勢調査や行政情報と組み合わせて分析することができます。

MAFF統計ダッシュボード



MAFF統計ダッシュボード

可視化した農林水産統計の主要なデータを直感的な操作により表示・比較できます

統計情報に関することや、
資料作成依頼などお気軽に
お問い合わせください。

